京城日報

露國議會延期

露都來電に據れば露國皇帝は露國々會及び帝國議會の開會を無期限に延期せり豫算案完成せざるが爲めなりと發表せらる（紐育電報）

雜報

支那交際官制

支那に於ては共和國成立以來駐外使臣の官制は暫行章程に依れるのみにして未だ正式官制の制定なかりしにより過般來政府にて起案詮考中なりしが此程略脫稿したり即ち其內容を聞くに一、大使は特任（親任）とす。二、公使及び大使館秘書長は簡任（勅任）とす。三、總領事及び大公使館の一二三等秘書は薦任（奏任）とす。四、副領事及び大公使總領事館の三等秘書隨員並に隨習領事（官補）主事等は委任（判任）とす。五、大使未設以前の英、佛、獨、露、米、日六國公使は暫く特任とすと（北京）

支那軍費統一

支那の軍事費は毎年の支出中最大額なる者なりしが政府は今回之を統一し兼ねて其の節減を行はんとし既に章程を起案せるが今陸軍財政部が發案せる師旅團の軍事費は如左（奉天）

師	一、七〇〇、〇〇〇（元）	旅	八五〇、〇〇〇
團	一三〇、〇〇〇	混成旅	九〇〇、〇〇〇
混成團	四五〇、〇〇〇	獨立旅	一、一〇〇、〇〇〇
獨立團	五五〇、〇〇〇		

帝政と增稅憂慮

段上將軍は北京政府よりの命令により一月帝政の實行を期し東三省治安維持の準備中なるが一般人民は去年まで一斤六十錢なりし鹽稅が三圓となり三圓なりし車稅が六圓となりしのみならず他各稅共に多大の增加を來せしに鑑み帝政實施の曉は更に多大の增稅あらん事を憂慮し今に於て非增稅の保障を官憲より得置かんと有志寄々協議中なり（奉天）

籌蒙三策獻策

蒙古圖什圖賓親王は過般奉天に來り蒙古政治の改善に就き會談獻策する所ありたるが其後段上將軍に對し政府に左の三策を取次がん事を請へりと（奉天）

一、匪賊の逸竄にして未だ剿絕せざるものは一律に放招し以て過誤を洗たし厥歸を俗にすべし

二、蒙民は前清の制限を受けて漢文に通ぜず內地の辨法を適用し學校を設けて以て人民の知識の開啓すべし

三、警察保衛團は內政の基礎とす治安を求めんと欲せば警察保衛團を設くるに非ずんば功を收むる事能はざりしたし

臨時警戒五條

北京統率辦事處は段奉天上將軍に對し左記臨時防務辦法五箇條を電令し來りしにより接手後直に管下各軍警に電飭せりと（奉天）

一、亂黨の煽惑を爲すもの
二、匪徒の滋擾を爲すもの
三、國體に反對を爲すもの
四、國民の耳目を聳動するもの
五、治安を紊亂するの行爲すもの

間島琿春通商

近來間島に於ける商勢一轉して局子街琿春間の通商稍々頻繁なる傾向を生じ來れり是れが原因を聞くに元來琿春附近は水質酒造に適せざるを以て同地の需要酒は悉く間島地方より輸送供給し居れり又露貨ルーブルの如き取引決濟に於ても同地は露領に接續しおれる關係上間島地方に比して甚多の便あり此故に間島にて顧みられざるルーブルが近來琿春に吸集決濟の用に供せらるゝと共に酒輸送の復便には同地を介して貨物を輸入するに結氷に至らざる豆滿江の舟運を利し反て琿春より輸入するを得策とする點あるに依り旁々此新傾向を生ずるに至れるなりと（間島）

總督訓示

農學校長會同にて

農業學校長會同第二日の席上に於て參列者に對し寺內總督の與へたる訓示左の如し

今回又農業學校長を會同し其施設の實況を聽取し、且つ必要なる指示を與ふるは本總督の滿足とする處也農業教育の要義に關しては本會同其他の機會に於て數次訓告する所あり、其の實施の成績漸く將さに觀る可きものあらむとするは先般開催の始政五年記念朝鮮物產共進會の出品に付て略ぼ之を認むることを得可く農業教育の逐次改善の域に進みつゝあるは寔に喜ぶ可き現象なり、然りと雖も朝鮮に於ける產業の施設は刻下漸く創始の時に屬し其の進步開發は猶ほ大に之を將來に待たざる可らず、農業教育に於ても亦然り、各位は益々克く本府教育の方針を體認し部下職員と共に奮勵努力、以て所期の目的を達成せむことを期す可し

通過貿易助長

淸津稅關の取扱改善

淸津港の通過貿易制度は舊韓國時代隆熙三年法律第十九條を以て發布され翌年一月一日より實施せられたるが其の取扱方法は一般輸出入の貨物に對すると同一に執行し通過貿易助長上よりして當業者に對しては多大の便宜を與へ輸入の手續を爲し國境關稅監視署に於て二箇月間に積戾說明を得て仕出地稅關に差出す時は關稅を免除さるゝと云ふ

▲他に例なき 緩漫なる取扱振方なりしを以て通過貿易に助長せし所多かりしも亦一面には弊害を生じ通過貨物の申告を爲しながら之を朝鮮內にて消費し或は實際取引を爲しながら通過期間たる二箇月間關稅の徵收を免かる等面白からざる傾向ありしより當局者は漸く緊縮方針を執り之が弊害の矯正に力め漸次其弊を除去せり而して明治四十五年には

▲朝鮮關稅令 の發布ありしも國境には當分適用せられざる事となれり越て大正二年四月陸接國境貿易規則實施され國境稅關出張所保稅地域、運送通路等新設され從來の通過貨物に對する取扱は運送免許の方法に依るに至り同時に從來は二箇月間ありし通過期間も隨時稅關に於て運送期間を定め得る事となり淸津稅關の

▲運送期間を 二十日間と定め實行せし成績良好なるより更に改善して大正三年一月一日より五日間の運送期間となり今日に至れるが爾來免許貨物中未到達の爲め關稅を追徵せしは運送期間經過後到達せし小數なる例外的場合の外皆無たるの好成績を示すに至りしを以て今回の淸津稅關にては過去の實績に鑑み從來の取扱を改訂し以て事務の簡捷と當業者の

▲便利を圖る 事とせるが其取扱手續大要は（一）陸路運送申告書の受理及び免許は監視係に於て之を取扱ふ（二）運送申告書は記載要項を調査し申告書副を付し現品と對照調査し符合すと認めたる時は之を免許す（三）運送申告書及び仕入書其他の添付書類と現品の對照に依る荷物の內容を確認し難き場合に於ては檢査係に於て之が

▲檢査を實行 する筈にて右は大正五年一月一日より實施さるべきが如斯取扱を簡單とせば其簡單なるに乘じて虛僞の申告を爲し或は運送途中に於て種々なる不正行爲を爲すの機風あらんも此等は當業者の商業道德に信賴し若し犯則者あらば假借なく犯則の取扱を爲して其弊を矯正し斯くして稅關の事務簡捷と當業者の便利を圖り延て通過貿易を助長發展せしめ以て通過貿易を

▲大主眼とす る淸津開港の精神貫徹に努めんと（淸津）

八日夕刊

定價 一部金二錢 一ヶ月金六拾錢 三ヶ月金壹圓七拾錢 六ヶ月金三圓三拾錢 一ヶ年金六圓（郵送料共）

廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲特別廣告

發行兼編輯人 印刷人

發行所 京城太平通一丁目 合名會社 京城日報社

電話 編輯用長三五番 營業用長一二一番 振替貯金口座京城三〇〇番

朝鮮のホテル

釜山及平壤に新建設如何

朝鮮鐵道局にては大正元年度に於て決定を見たる同年度以降七箇年の繼續事業として百廿五萬圓の豫算を立て京城、釜山、平壤の三箇所にホテルを建設する事となりゐたりしが第一に著手せられたる京城なる朝鮮ホテルにて共進會開會迄に速成するの必要を生じ

▲他一箇所は要急 なき爲め其年度割をも朝鮮ホテルに流用し大正四年度迄に於て既に八十四萬五千圓弱を支出し斯くて共進會前に於て其工事を竣工し爲めに來往客頻繁なりし時期に際しても左したる不便を招かざるを得たりしが既に朝鮮ホテルの工事は之を以て終了したるを以て殘部四十萬圓餘は之を釜山及び平壤の兩地に設置すべきホテル建設費として支出せらるゝ次第なり而して其支出年度割は大正五年度に於ては廿二萬圓餘となり居れるが一方釜山及び平壤に於けるホテル業に就て見るに釜山にては停車場階上に於ける同業を以て充分に客の需に應じつゝある有樣にて更に

▲數年來の景氣を 見るに先帝昭憲皇太后の御大葬に相亞いで歐洲大戰となり其影響は旅客の數を減じ從つてホテル投宿客の減少を來し釜山の如きは現在停車場旅館のみを以ても優に現在の需要を充しつゝある有樣にて更に是以上の擴張を爲すに於ては鮮からぬ民業壓迫ともなり是れ當局の本旨にもあらずもしからぬ一事たり平壤とても同じく差迫りてホテル建設の必要をも認め難く然も更に眼を轉ずれば鐵道建設費（ホテル建設費も建設費中に含まる）中の他の項目に於て必要目睫の間に迫り居れるもの多々あり殊に現に工事中なる咸鏡線淸津會寧間に於ては今秋の水害の爲に豫定工事變更の止むなきに至り豫定工事變更に伴ふ增費額は今日に於て未だ確定せるにあらざれど

▲鮮も二四十萬圓 を要すべく勢ひホテル建設費は是等の方面へ流用せしむる事となるべし然も結局する處釜山及び平壤の兩箇所にホテル建設の事は既定の事なるより右期限（大正七年度）中には必ず建設を見るに至るべく其設計の增縮も今日の處不明なれど其等の事も必要に應じて相當の決定を見るべし

人事消息

▲國分李王職事務官 七日夜南大門驛着歸任
▲朴泳孝侯 同日夜大邱より歸京
▲李寅武子 同上
▲中村時章氏（醫學博士） 木浦出張中の處七日夜歸京
▲太田清松氏（京畿道警務部長） 八日午前內地より歸京
▲李熙斗氏（陸軍副將） 同上
▲柳熟輸氏（陸軍副領） 同上
▲秋山參事官 八日午後七時五十分南大門驛發東上
▲野手耐氏（鎭南浦稅關長） 六日入京不知火旅館に滯在中
▲山岡土木局技師（在元山） 六日歸任

歲末郵貯概況

（加藤管理課長談）

歲末に瀕せる郵便貯金概況を貯金管理所に就きて聞くに十二月一日現在に於ける預金總人員は八十三萬五千四百五十七人にして其總金額は七百三十一萬九千百二十圓三十八錢八厘なり此內朝鮮人六十一萬七千六百五十八人預金百四十五萬二千九百九十八圓七十一錢一厘あり朝鮮人の貯蓄心の增加せる兆候として喜ぶべき現象なり之を前年同期に對照すれば人員七十萬八百六十八人金額六百二十九萬四十九圓八十七錢一厘にして此內朝鮮人は人員五十三萬五千二百二十五人金額百十一萬九千四百三十一圓六十七錢五厘なり本年は人員に於て約十萬人を減じたりと雖も金額に於ては三十二圓を增加せり以上は概況なるが更に最近調査齊となりたる九月末の郵便貯金決算高を見るに預金總人員七十八萬七百四人にして此金額七百二十五萬七千三百零六圓九十一錢一厘なり

李王家御祝詞

八日皇子御命名あらせられたるに付き李王、李太王、李堈公、李埈公各殿下は同日午後二時何れも御使を總督府に派して山縣政務總監を訪問、御祝詞傳奏方を依囑せしめられたり

朝鮮法令審議

總督府にては重要法令案に對し法制局と審議の必要を認め秋山參事官を東上せしむるに決せり、同氏は八日夜出發す

農校長會同（第三日）

農學校長會同は七日を以て諮問、協議等總ての會同を終了し八日は一般部局課に就き各自の打合せを爲せり、滯京中なる各農業學校長等は今明日中に夫れ〴〵歸任す可し

水產技官會同

總督府にては十三日より各道水產技術官を召集し六日間毎日午前九時三十分より午後四時まで總督府第二會議室に於て水產技術官會議を開催するに決せり會同の日程及び諮問事項は兩三日中に發表の筈なり

辭令傳達

八日午前九時半山縣政務總監は總督室に於て左の兩氏に對し左の如く辭令を傳達せり

中央試驗所技手兼勸業模範場技手 上杉網雄
任農業學校教諭兼勸業模範場技手

朝鮮鐵道局技師 中野深
兼任總督府技師

南言北語

▲日本の勸告にも四箇國の警告にもズゥ〳〵しく構へて居た支那も今度の上海の革亂勃發には飛び上がつたらしい▲其れも其の筈で口先の喧嘩ではなくて笠の臺の奪ひ合ひだから目玉を剝き出して吃驚したのも御尤も千萬だ▲が、聊か大山鳴動して鼠一匹と云ふ觀のあるのは物足らぬ心地がする▲其れとも陳其美が日本から南洋へ行きかけに上海に立ち寄つて鳥渡行きかけの駄賃に小手調にやつて見た迄と云へば其れ切りだ▲大木を根こぎ引き拔かうと思へば小々の風では却々倒れぬからマア度々時化をやつて居ると終ひには大時化になつて倒れよう▲人間萬事氣永いのが一生の德だからナア▲それだから日本が勸告したのではないかサア愈々御自慢の通り外國人の保護が出來ますか▲而し大きな聲では云はれぬかも知れぬが陳其美はほんの手先で若し彼れが上海を占領して長江を扼し大聲疾呼したならば▲愈々與物の馮君や段君がヌート出て來ると云ふ手立だ▲而うすると南京、廣東は云ふに及ばず南支一帶の亂るゝ事は受合▲北方歸化城方面からは蒙古の快傑八ト札トが大軍を提げて北京を狙ひ機を見て侵入せんとも限らぬ▲南方では革黨及び不平黨の面々劍を磨いて蹶起の機を窺つて居る▲北京連中の浮腰は尤も千萬かけ代のない大事の命を亡くしては何にもならぬから此の處大に首を捻らねばなるまい▲さりとて之れ迄出來上つた帝政を見す〳〵思ひ切るなんて掌中の油上げを鳶に掠はれるも同樣▲上海も騷ぎ出したが日比谷の議會も大分力瘤が入り出した▲七日本會議質問戰の劈頭で佐々木蒙古王が懲罰を宣告された▲先生一生の思ひ出に大にやるかと思つたら存外をとなしかつたらしい▲議會の蒙古を責めるよりも政府は與物の蒙古は何うなさるお積りか▲蒲鶯の排日は何うです▲國民黨の猛者伊東知也君などは蒙古王の爲に大に弔合戰をやるのであらう

奉祝第四皇子御誕生

目　池一

日本は四方へ大正四年の多
木犀の冬ぞ吹く玆に四皇子や
馬嘶いて御命名日御所の多櫻

▲廣告▼

師範科講義

獨立自活を欲する男女は速に本會に入り先づ小學教員となれ其以上の向上發展は本人の實力次第なり兎も角會則を見よ。

男女兩部あり＝會則無代進呈

會長 從二位勳一等 男爵 辻新次閣下

日本師範學會 東京◦牛込◦津久戸

本會講義錄は師範學校四年の課程を一年半に講述する者なるが中要及高女講義の代用ともなるを以て小學教員志望者ならずとも適當也

（最新刊）

舊き文明より新しき文明へ

中澤臨川先生新著

定價八十五錢 郵稅八錢 菊半截總布金文字美本

內容 現代文明を評し當年の新文明か卜す▲新ハムレットと新ドンキホーテ▲現下の社會的創作▲新文明の消長▲思想か實行か▲思想藝術の現在▲生命の哲學▲新合理哲學▲人格と哲學▲藝術の本質 外

革命動搖の兆を呈せる現代文明の歸趨果して如何

一文明の爛熟せる時更に新しき文明生ず現時の社會の漸く動搖の兆ある是れ現代物質文明の弊に耐え得ざる國民の要求ある爲に非ずや然らば來るべき新文明は如何本書は當代の新文明批評家中澤先生が多年の蘊蓄を傾け現代文明の推移を說き將に來るべき新機運を解して始めて新しき理解新しき同情あり以て新らしき文明を解すべし

東京市日本橋區 實業之日本社

種々荷揃

歲暮賣出し

荒卷鮭 本場蜜柑
食料品 漬物類

京城旭町壹丁目

刀川西商店

電話長一三六七番 振替口座京城壹番

文學博士瀨川秀雄先生新著＝大禮記念唯一の典籍

學習院教授 陸軍大學教授

西洋通史

吾人は最早世界史に通ぜずして社會に立つ能はず

如何なる書籍が吾人に最も切要なるかと云はゞ目下世界歷史の知識を最も平明懇切に供給する書籍ほど絕對緊要なるは無かるべし何となれば吾人の耳目に觸るゝ大小各種の諸問題は世界歷史を基礎とするに非ざれば到底之を理解すべからざればなり。

▼最も手頃にして最も徹底せる世界歷史

本書は此一大切要なる知識を一般人士に提供せん爲、瀨川博士が新たに稿を起し、拮据幾年、始めて大成せられたるものにして、上下五千歲、各國の興亡民族の消長、文明の隆替其他苟も人類活動の重要事實は漏す所なく、最も手頃にして最も徹底せる最新完備の世界通史なり、編述の體裁は、評論よりも叙述を主とし、考證よりも說明を旨とし、讀者をして最多くの史實を知らしめ極めて豐かなる趣味に飽かしめんことを期せり。上古より現代に至る因果の關係は固より最近世界の發展及歐洲大戰亂の由來並に其戰況に至る迄一讀直ちに世界の大勢に通じ得べからしめ。西力東漸、植民政策、商工業の發達經濟事情等に就きても麻姑痒きを搔くが如く、最後に帝國の世界に於ける位置を論じ以て國民の覺醒を促したり、之を要するに博士が畢生の目的たる世界史の知識普及の爲深奧の蘊蓄と犀利の識見とを傾注したるものなれば、史實所論の正確適切にして、學者の最良參考書たるは勿論、繁簡中を得て文體平易流暢、如何なる複雜の事件も歷々掌を指すが如くなれば、緊劇なる社會に活動する一般人士の讀破には絕好無比なる讀物にして、特に此際御大禮紀念として、來る新年の書架を飾るべき最高の典籍たるを信ずるものなり

全三卷 一千五百頁四六版ポイント活字天金裝幀 極美各卷口繪三色版卷末索引及沿革圖十六葉附▼正價金四圓五十錢

壹萬部限り特價提供

拂込規定 十一月二十五日より大正五年一月三十一日まで、隨時拂込のこと
上卷金壹圓貳拾錢（著金即時送本）
中卷金壹圓卅錢（十二月十日より著金順送本）
下卷金壹圓卅錢（大正五年一月廿日より著金順送本）
一時拂金參圓六拾錢（出來毎送本）
送料各卷八錢臺樺四錢鮮支十四錢づゝ 全部二十錢臺樺四十錢鮮支五十錢

內容見本無代進呈

東京神田 振替一〇五 發賣 全國書店

賣掛代金の問題

歳暮は何處も頭痛の種とて 京城の商人の代表者の會合

商人同士又は商人と顧客との間の取引關係と云ふものは單り朝鮮許りでなく内地にても都會地は概ね月末勘定と定まつて居る併し其の未勘定と云ふのも何等規則とか規約とか云ふ難しいものがある譯ではなく唯單に商人同士の申合せた不文律であつて自然顧客も之れに倣つて月々勘定をすると云ふ位に過ぎぬが法律でさへ却々其文句通りには行かぬ世の中だもの寧ろ一方から云へば月々勘定などが的確と出來たら奇蹟と云つてもよい位だ

▽拂ひのよい家は▽十軒の中で三軒

月末勘定と云つたつてそれは無論商人同士の話で京城の樣な月給取の多い所では通帳や當座帳を月の廿日迄に締切り書出を作らへ二十日か廿一日迄に御顧客に配つて置いて二十一日か又は二十五日の月給日を狙つて收金に出掛けるのが順序である併し雜貨屋の小僧なんかに聽いて見ると月給日に廻つて行つて通帳や書出し通りお拂をして下さる家は十軒の中三軒位で其殘り七軒迄は月末に來い、來月五日に來いと云ふそこは商人の弱味專ら御顧客の御機嫌を損せさらんことに腐心して唯御金は貰へないでも『毎度大きに』の愛嬌を振り撒ひて引退るのが通例である

▽ずるぐべつた▽りの『有る時拂』

御約束によつて月末とか月を越えた五日や十日に伺つて見ると一寸都合が惡いから今月の給料日迄延して呉れとの御諚、此時に『何んでしたら只今戴けますまいか』とでも云ばそれこそ最後の宣戰を布告した樣なもので『君の宅計りか商店ぢやあるまいし拂つてやるから後は御斷ぢや』と弱く出れば強く出られ強く出たら尚ほ強く出られると云ふ具合で折角の御顧客を失ふことになるから其の邊はいゝ加減にして引退る此の樣にして月末拂や月々勘定は一年中ずる〳〵べつたりで所謂『有る時拂』と云ふ譯になつて來る——商人泣[illegible]ない者はありやしない——と云ふ嘆聲も此邊から出るのである

▽正直に拂ふが結▽局損ちやとなる

御顧客の方の賣掛代金が回收されぬからして資金の融通が利かなくなり從つて商人側の地元と問屋、問屋と仲買人、仲買人と小賣店と段々金の運轉が滯り此處にも月末勘定不勵行となる、其證據には月末になつて本町筋を通つて見ると諸拂ひ來月五日とか又は十日甚しいのになると來月二十五日など云ふのもある此樣にして商人同士商人對顧客の取引が行はれて居るからして一方には金利の關係もあれど現金賣と掛賣とには五分や一割の差が生じて來るのである商人の方では掛倒れなんかを見込んで一般に商品を何割か高く賣つて居るからして正直に拂ふ者が結局損ぢやと云ふ人もあれどこれや少々穿ち過ぎた話だと思ふ

▽檄を五百七十餘▽の會員に飛ばす

本町邊の商人も此弊害を矯正したいとは多年の懸案であつて既には四十一年に朝鮮全道擧て掛賣り代金回收勵行を叫んだが流るゝ歳月と共に遂にお流れとなつて今日の如き舊態に復したのであるが今回京城の實業家中釘本、進、天日、篠崎、横田、大和、古城、增田の八氏發起となり再び賣掛金回收改良の急を唱へ京城商業會議所の會員(府營業税十三圓以上納付者)五百七十六人に檄文を飛し八日午後五時京城ホテルに相談會を開くことゝなつた果して如何に決するや不明であるが發起人の意嚮は必ず何等かの方法により初志を貫徹し進んでは全鮮を擧げて勵行したいと素破らしい勢である

皇子御命名

二日御誕生あらせられたる皇子を崇仁と命名し澄宮と稱せらる(東京特電)

意味有り氣な微笑

開けて見ぬ前の玉手箱の寶勘定

商業會議所評議員の選擧運動にかけては豪の者と人も許した二三人が會議所の一室に落合つて『一級の大勢既に決す』とばかりニヤリと意味有りげな笑を漏して勿體らしく持ち出した虎の卷を覗けば一級評議員内地人十二票のところへ下記の顔觸即ち原田金之祐、釘本藤次郎、廣江澤次郎、唐川立造、佐野彦藏、林田金次郎、林茂八郎、梶原末太郎、高木德彌、進辰馬、關繁太郎、天日常次郎とづらりと名前が並んでゐる、朝鮮人側は既報の如く八票の有權者中韓相龍氏四票の最高點を以て當選し白完爀、趙鎭泰氏は各二票と云ふ割合だらう

▲到る處に白兵戰(名刺を突附けて頼むく)

一級より出ると稱せられた岡正矣氏は斷然見合すこととなり遲れ馳せの林茂八郎氏は數票を得て安心の體、二級も六日夜來多少各候補者の旗色鮮明となり起否何れとも決せなかつた遠藤廣吉、堀尾潔、深水清、藤田安之進、藤田米三郎、齋藤治平、辻本嘉三郎の七氏は斷然中止したる外の篠崎半助、古城龜之助、大和與次郎、增田三穗、執行竹太郎、河村千次郎、石野熊一郎、藤富國太郎、谷口小次郎、鍋島宇吉、横田瀧三郎、首藤定、近藤脩、小谷清、池田長兵衞の十五氏は盛んに運動員を督して各處に白兵戰を見せてゐる就中古城龜之助、篠崎半助、河村千次郎、首藤定、横田瀧三郎、鍋島宇吉の諸氏は最も猛烈に御大自ら有權者を說き廻つて居る鍋島氏の如きは端書大の赤名刺を突付けて頼む〳〵の百萬遍を繰返す

▲三名だけは落選(鮮人側の得票は安心が出來ぬ)

内地人十二人の定數に對する目下の所十五人の候補者だから自然三名だけは落選の憂目を見ねばならぬ譯であるが何れも出るからには當選したく當選するからには一票でも多い方がと云ふ具合に慾が加はり朝鮮人側の二級有權者が三人の定數に對する百四十二人の多數なるを幸ひ種々の因緣を辿つて此方面に切り込んだ者も尠くない樣である、所が此鮮人側の得票と云ふものは仲々以て安心が出來ないと云ふ一つの懸念は今回は有權者たる鮮人が選擧に慣れて居ないため無效投票又は其繁を厭ふの餘り投票の手續が餘程難しく而かも有權者は合つて置きながら棄權する者も多からうとのことである八日迄の形勢に依れば六七十票位は鮮人の地盤に喰込んだらうとのことである

▲一向勝手が判らぬ(今度はご面白い選擧は無い)

從來とても選擧期日の切迫につれ當落の成算候補者に立つものと見え期日前三日位ともなれば一級は勿論二級に於ても大勢の決するを例とすれど如何せん今年は全く從來とは其趣きを異にし居れば候補者側も一向に勝手が判らず何れは投票函の蓋を開けるまでは五里夢中だらうと云つて居る又た一面から云へばこゝが二級戰の面白い所で運動の仕甲斐もあれば野次つても興味がある譯である稀にしかない選擧に運動員として傭はれる所謂野次馬連中の話しを聞いて見ても今度程面白いことはないと云つて居る兎に角誰も最高四十五票最低十五票位と云ふ胸算用をやつて居る樣だが此先怎なることか

上海拂曉の市街戰

列國共同義勇隊の召集

上海にては六日午後八時頃より又復形勢不穩の報あり小銃及び拳銃等にて武裝せる革命黨員三十餘名は佛租界に於て佛租界警察の手に捕はれたり彼等の或者は爆裂彈を所持し居たり十時半頃に至り革命軍三百乃至四百名は支那警察署を攻擊し爆彈を投げ小銃を亂擊したるも擊退せられ多少の死傷者ありしものゝ如く其の一部は退却して佛租界方面に入らんとしたるが佛人巡査の嚴重に守備し居るを見て更らに之に向つて發砲せしより佛蘭西警察は直に之れに應戰したり夜半に至りて十五名の革命黨員は拿捕せられたるが其後又銃聲屢々起り午後六時半より一時間程の間最も激しく佛租界内日本人住宅附近に落下せる銃彈夥しかりしも其後の情況は不明なり七日午前上海列國共同租界の義勇隊は召集を受けたるが之れ佛租界警察より萬一の場合援助を乞ふ旨の依賴に基けるものなり(上海特電)

現金入の赤囊紛失

三千百圓行衛不明となる

江原道より元山郵便局に廻送す可き郵便物中の現金三千百圓入行囊の紛失せる一椿事あり、その事件の眞相を聞くに去る廿七日江陵郵便局を發送せる現金入行囊他の郵便物と共に廿八日注文津に到着し同地に一日留め置き翌二十九日午後四時荒木回漕店に託し同地發朝鮮汽船平安丸にて一日午前元山に廻送されたるより元山郵便局にては型の如く係員を出張せしめ右郵便物を本船より受取り本局に持ち歸りたる上現金入行囊の取調を爲さんとしたるに右の行囊は重量一貫六百目ある筈なるに外包の儘にても定量に達せず且つ外包の口に怪しき點あるにぞ這は一大事と早速現金を檢めたるに果して大行囊内の赤囊に異狀ありて内部の現金包は紛失し居れり一同の驚き一方ならず直ちに此旨警察署に屆出で目下犯人嚴探取調中なり昨年末江原道杆城郵便所より元山に廻送の現金入行囊金の紛失せるより一年を經ずして又復この椿事あり注目に値する一大事件と云ふ可し

▲郵便行囊紛失

朝鮮郵船巨濟丸が本月三日慶南露梁津沿海を航行中郵便行囊一箇(現金八百圓在中)のもの紛失し目下其筋にて嚴探中(釜山)

兵士自殺

守備隊長の急行

慶尙北道聞慶に駐在せる守備隊一等卒山口某は精神に異狀を生じ上官の獵銃を盜み出し六日午前一發の銃聲と共に自殺を遂げたり急報に接し出羽尙州守備隊長は夜を徹して現場に急行せり(尙州)

大豆商に化けた馬賊頭目

四日營口の小寺洋行の店員が安奉線姚千房方面へ大豆買出しに赴きしに黃四爾王部下の某頭目一人大豆商に化けて之を襲ひ所持の大金を掠奪せんと尾行せしを密告するものありしより馬車巡鎭守使部下の巡防隊約四十名にて包圍し馬上ながらに該頭目を捕縛せり一二日中に奉天に護送し來るべし(安東縣)

十八名の不正漁業者檢擧

慶北迎日灣以北に於ては漁業期には例年不正漁業者出沒する者少なからざる爲飯沼浦項憲兵分隊長は去る三日部下を巡邏船鯱丸に搭乘せしめ吉井盈德警察署長は部下を隨へ陸上より相呼應して一大檢擧を行ひし結果清河近海にて十一名長沙沿岸にて七名都合十八名の不正漁業者を檢擧し目下盈德警察署にて嚴重取調中なり

●小切手を盜む

仁川敷島遊廓玉川樓、朝日樓、熊谷樓等に客月八日頃より内地人風を裝へる鮮人少年が繁々登樓し金を湯水の如く浪費するものある事を花町交番所にて探知し本人を同行刑事係に於て取調べたるに此は仁川府内里二十六統八戶金龍三方李聖萬(十七)と云ひ元山大石煙草店に雇れ居る中客月七日商掛代金九十餘圓を橫領逃走したる旨申立つるも消費高が符合せざるを以て嚴しく問責したるに遂に包み切れず本年一月頃仁川海岸町漁具商池末登一郎方に被雇中家人の隙を窺ひ小切手用紙八枚を盜み出し之れに主人の實印を盜用し置きたるものを携へて元山に逃走し前記大石支店に住み込み客月六日同店の賣掛代金廿餘圓を橫領して仁川に舞ひ戾り前記小切手に二百八十圓と記入し之れを銀行に差出して現金を引出し全部前記各樓にて遊興に消費したる旨逐一自白に及びたれば六日檢事分局に送られたり

●恩賜授産場より出火す

京畿道漣川郡恩賜授産場構内朝鮮式建物より七日午後六時發火し一棟を燒失して同七時二十分消止む原因溫突焚口の殘火より發せしものにて損害約三十圓人畜異狀なし

●電線に惡戲すると一大事

京城蓬萊町二丁目通にて八日電話線五線電柱より甚しく下垂し居り頗る危險なるを巡回中の本町署警官發見し郵便局より復舊をなしたるが冬期頃電線に故障を生ずるは電線に小兒の惡戲より石を投じ或は紙鳶を引懸る等の事より起因するもの多き由にて斯かる惡戲をなしたるものは相當罰せらるゝに依り一般小兒及び保護者は注意すべき事なり

●背中を刺透す

京畿道驪州郡州内面淵陽里生同郡西面醴陽村里居金壽福事幸四連(十九)は外二名と共に棍棒を携帶し本年五月十四日午前二時頃坡州郡坡平面梨川里酒幕朴姓女方に突入し同人並に宿泊人李權憲李柱永等を棍棒にて毆打し有合せたる細紐にて同人等を縛り上げたる上出金を迫り朴姓女より銀製耳搔一本簪一個、洋傘一本李權憲より現金四圓四十八錢五厘を強奪し尙其場を逃走せる李柱永を追跡し同家門外にて同人を棍棒にて毆りつけたる上小刀にて背部を刺し後頭部及び背部に數箇所の打撲傷刺傷を負はせたる强盜傷人事件は京城地方法院に於て豫審取調べ中の所愈終結し不日地方法院の合議公判に附せらる

●卒倒した時は揉むがよい

血液循環療法 腦充血が癒る

頃日大屋鐵道局長官の邸に招聘された血液循環療法の發明者小山善太郎氏はこれまで床次竹次郎氏小笠原伯爵等の腦充血卒倒を癒した人であるが氏の說によれば世間大抵の病氣は血行の不順から起り血行の不順は體内局部に脂肪が凝固して血管を壓迫するより起るので其の脂肪が凝固した場所々々により色々な病氣となるといふのである、例へば彼の無病息災のよく肥滿した脂肪性の人が腦充血に仆れるものは多くは後頭部の延髓と小腦との間に直徑一寸大甚だしきは幅二寸長さ三寸厚さ一寸大の脂肪固體が出來てこれが爲めに頭部の血液を停滯せしめるによるので平素から此の固體を按し柔げて凝固した脂肪を分解すれば自然充血も治り血液の循環がよくなる譯である、それで卒倒した場合には氷囊で冷すのは危險であるから循環療法によりよく按む方がよい又中風で半身不隨となつたやうな場合にはなるべく其の局部を動かして脂肪の固體を分解するやうにするがよいと

△公平洞より 松まくら丹次郎

淺草生れの私は今年の四月某大學を出てこちらへ參り兒の店に働くことになりました、私の嬉しく思つてゐます一つの事は此近所の親切で敎育のあることです。

□鮮人の割合に正直で□

東京に居る時分能く聞きました油斷のならない鮮人さいふ言葉の實現はわが公平洞には見られません、其れは近所に學校や敎會などが多う御座いますので餘程感化された者なのでせう、又敎育が多少なりありますせいでせう、一寸私の存じて居りますばかりでもこんな狹い公平洞に慶應出が二人

□東京へ出た者が二人□

善隣商業出が三人も居ります位です、爲めに日中留守番させて外出しても平氣な者です、更けて行く夜、耳を澄ませば妓生のアラランを唄ふ聲や、友戀しの吾が野邊にも唱ふ淋しい歌がゆくりなく聞かれますのも私の樣な感傷的な人間には非常に嬉しいのです、又公平洞には有名な市場がありますので常に宵々とした氣持を能く味はれます、そのせいか

□活氣のある商業振り□

が見られますのも一つの誇りであります。なほおでんやの此街にありませんのも誇りたいと思ひます。殊にたれた女の聲の手にかゝる鮮人がいたし〳〵しくてなりません。悠うした淸い公平洞に住む私は鮮人と共に幸福な日を暮しんでゐます。

●九十圓を拾得 釜山草梁生れ仁川花町一丁目許雲七方勞働李致天(二三)は[illegible]町西本願寺下道路にて京城新町西廣正登の遺失したる現金九十圓を拾得[illegible]

[illegible]五年の判決となりたるを京城覆審法院に控訴したるも十二月六日控訴を[illegible]

[illegible]以來不和となり之を根に持ち同人を他に轉居せしめんことを企て九月二十一日午後九時頃同人住宅と屋根の續き[illegible]

●平北憲兵分隊增設 平安北道昌城郡憲兵分遣所は十二月一日附[illegible]兵分隊となり上原軍曹[illegible]の變更を來し義州憲兵分隊は單に義州郡のみを管轄し昌城分隊は昌城、[illegible]郡及び朔州郡の[illegible]

去る二日陸軍大臣兵式當日を以て第一回會員の技術審査會を開きたるが道場を憲兵隊本部に置き[illegible]

天氣 曇但し小雪 十二月九日(九日午後六時迄)

日出 七時廿五分 日沒 五時十五分 滿潮 仁川 午前[illegible] 午後[illegible]

銃獵之趣味

見!銃獵の手引=多獵を希望せん人=朝鮮の獵地を知らんとする人

銃獵の壯快なる事は何人も知る處ならんも徒らに心醉して遂に身命を損ふ者多きは畢竟するに獵家の不注意より來る處なり道は其の銃器を悉知せざるが爲なり

本書は銃器の如何なるかを說き且つ著者多年の經驗より銃獵の趣味と修養を併せて詳說せり

獵犬の使用と善惡を說き朝鮮の好獵地を敎へたる處始めて「スポーツマン」たらんとする人は元より獵家必讀の好著たり

定價金四十錢

發行所 京城太平町一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社

本場みかん(毎日數噸宛入荷)

食料品雜貨 清酒醬油 罐詰紙類 果實雜貨 海產物一式 問屋

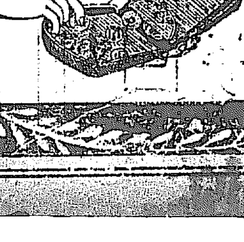
京城旭町一丁目 岩城馨商店 振替京城一〇〇六 電話八百四番

一番 實用で體裁の良い理想的錢入は

現代式弗入

◎全國有名雜貨店小間物店にあり

製造發賣元 囊物雜貨商 大阪 川瀨號



□開業廣告

△京城で名高い一つの萬千閣は今般組織を改め望仙閣と名稱を附し十二月一日より御料理開業仕候

△當閣は位置南山中央の山麓にありて最も風光絕雅全市を一望の下に納め大小の御宴會は固より

△御手輕本意に御婦人御小供衆御同伴に適し或は屋外の

△庭園を御利用下さらば數百名の園遊會には頗る御都合宜敷何卒細大となく是非當閣御引立の程奉希上候

京城旭町一丁目(萬千閣事) 御料理 望仙閣 電話二三九〇番

…佃庄之進方に忍び入り…現金一圓五十錢を窃取したるを手始めに八月十三日午後二時頃仁川寺…所より白米五斗入五叺を窃取し其外四罪ありたる爲め仁川支廳にて懲役…五月中居宅隣家の朴在熟の妻逸姓女と共水使用のことより口論を惹起し…し不日京城地方法院の合議公判に附せらる

…北署管内の憲兵…名上等兵十三名補助員十二名…四三頭の警員を見るに至り自然…一…本部長…警務部員並に憲兵分隊員を組織し…

◎群山米は本年も百萬俵
相場は豫想に反して好氣配

朝鮮唯一の米の相場として有名なる群山の米界は十月の新穀出廻期より追々活氣を呈し殊に十一月中旬頃よりは内地の氣配に伴ひ相場次第に昂騰し從つて内地移出著しく激増を告げ昨今にては殆ど船腹の不足を訴へ一方奥筋よりの出廻りは續々と絶えず爲めに埠頭は一面に米の山を築きつゝあり幾んど豫想外の活況を呈し居れるが今左に十月よりの出廻移出狀況及び將來の豫想並に之れに伴ふ附近農民の生活狀態を報ずべし

▲本年も百萬俵　昨年（一昨年十月より本年九月迄）の移出高は相場不況なるにも拘はらず未曾有の豊作を呈したる爲め例年に無き多量に上り百十萬俵と稱されたるが本年は全北道一圓水害の爲め收穫減少し昨年の收穫高百四十萬石に比し約廿五萬石の減收を見たるが唯本年は前記の如く相場上向き一方なるより移出も豫想外に多量に上るべく今日の情勢にては百萬俵を下らざるべく尤も全移出高の三分の一は忠南米をも含有すべきは勿論なり

▲今日迄の移出　新穀出廻期より今日迄の移出は約二十萬俵を算し仕向先きは重もに阪神東京横濱にして其中三分の二は阪神地方に三分の一は東京横濱方面に移出され居れり而して移出の最も盛んなるは相場の高低に依るは勿論なるも本年は十二月より一二月にかけて旺んなるべく此の間の時期こそ各米商の最も活動を要する期間なり

▲相場は益强氣　本年相場の豫想は南鮮一帶水害の爲め不作を免れざるも左して著るしき減收を見ず唯昨年の大豊作に比して不作といふに過ぎず先づ平年作と見て可なるべく而して一方内地の作柄は未曾有の豊穰を示したる爲め各米商は最初何れも相場の弱氣配を豫想し昨年同樣の狀態を繼續するならんと豫期し居りしが事實は豫想に反して好氣配を示し早や十一月初旬頃より内地相場と接近し來り衛來益々上向きの傾向を示して今日に至れるが昨今の相場は（十二月一日現在）改良一等十二圓二等十一圓七十錢昨年同期に比し一等二圓五十錢二等二圓五十錢の昂騰を示し居れり尤も本月六七日頃の相場は稍や低落の氣配を示したるも這は大海に於ける一小波瀾に過ぎず大勢は依然として上向一方の傾向を示しつゝあり而して將來各商人の豫想は强氣七分弱氣三分にて强氣の見込みは其の間多少の高低は別として平リ〳〵と昂騰し來春頃に至らば十四五圓臺に達すべく又弱氣は十一圓見當と豫想したるものゝ如し尚之が原因に就ては米商間にても種々の説あり或は内地本年の收穫豫想は事實の表の夫れと相違し居るなるべし又政府が貯藏米の輸出などいふものあるも這は後日に讓りて姑く當業者の判斷に委すべし

▲昨今の船繰り　群山に於ける汽船取扱店は大阪商船代理店尼ケ崎汽船出張所朝郵取扱店の三箇所なるが右取扱店は毎年出穀期（十一月より翌年四五月迄）中は定期船の外臨時船をチャーターし大阪商船は既に十月中二隻十一月中は四隻十二月中は七隻をチャーターし尼ケ崎は來廿日頃より増航を爲す爲め二隻の汽船を回航し現に臨時船を回航せしめ朝郵も同じく臨時船を回航せしめ荷主の便宜を圖りつゝあり

▲農民生活狀態　附近地方農民の生活狀態は概して良好なり殊に附近米產地方には内地人の大小營農家多數入り込み大農家と雖も自身營農の事に當り彼等は勤勉力行の美風を親しく目擊しをるより從つて此の美風に感化され種子の改良肥料の選擇等に留意し優良米を得ると共に收穫の多きを圖ることに努めたる結果今や其の成績の大に見るべきものあり一方小作人は當局の指導と内地人營農者の獎勵とに依り米作の副產物たる稻藁を利用し農家の最好副業とする繩叺の製作に從事するもの多く沃溝郡管内丈にても昨年度に於て既に二十八萬枚を製產し本年度の產額は優に四十萬枚に達すべき見込なりと從て同郡内の如きは貧困生活難を訴へ救助を求むるもの殆んど無く殊に最近米價好氣配を示しをるを以て附近農民の生活狀態は益々順調に在るものゝ如し

◎安東縣の財界

十一月中の安東縣經濟狀況に就き朝鮮銀行出張所の調査せる處に依れば前月來日本側金融狀態は左して變化なく只米價騰貴並に銀相場上騰の關係上米買出資金の需要幾分之れありしのみ從つて金利にも變動なし但し支那商人側は銀價の騰貴と作蠶買出季節なりし爲め銀資金の需用相當に之ありしが如く市中の金利は四錢見當を唱へたり當月二十日前後多航路共移航となりしを以て今後は最早左して新資金の需用なかる可く唯米並に大小豆買出資金の需用は幾分之れある可き見込なり而して十月末より當月末迄の出廻り柞蠶繭は約二萬八千籠にして一籠に柞蠶は不出來なれば此上は左して出廻りなかる可く相場は芝罘筋は買煽りにて暴騰し昨年同期に比し三倍の市價を呈し糸も亦約倍額に騰貴し取引甚だ活潑なりき又内地米價の昇騰に連れ大小豆共に相場高かりしも端境期にて取引少なく木材は前月來相場保合の姿なり翻つて輸入品を見るに輸出品市況の强氣に連れ綿布砂糖等の賣行良好にして相場も終始强含みの狀態なりき

◎改良されたる慶南の米穀

慶尙南道各郡に於ては本年七月移出米檢査開始と同時に一般農家に對しても米穀改良の實行を期し之れが機關として管内十九郡の内密陽郡を除きたる十八郡にては各地とも地主會なるものを組織し組合長一切の事務に對する道廳よりの通牒等を一般に周知する事に勸め其結果として現今にては改良調製の注意又は之れを擧げ頗る良好の成績を得るに至り例年に比し一石に付平均二十錢以上の値賣りをする事を得るを以て一般農民は道廳の措置頗る宜しきを稱讃しつゝあり現在に於て最も改良の成績佳良なるは陜川密陽昌原泗川釜山等にして其他の各郡に於ても極力改良を獎勵し檢査を嚴に取締り玄米一石に對する八升以上の夾雜物混入の場合には檢査不合格となし再調製を命ずる事となり居るを以て一般に調製に意を用ひ近來著しく米穀の品質を向上せしめたり

◎改良種米普及
在來種子との交換

慶尙南道廳にては米穀檢査開始と共に改良日本稻種の普及を圖る目的を以て管内篤農家をして指定採種田を耕作せしめ採種田一反歩に對し金三圓宛の補助金を與へ本年度の成績頗る良好なりしに由り今後年々五十町歩宛改良種田の增加を計劃し猶可成的改良種普及の迅速を圖り各篤農家をして在來種十に對する改良種八の割合を以て種子の交換を行はしめつゝありて成績意想外に良好なりと

年末の贈答品には　實用　珍柄豊富　ちゝぶ銘仙　京城本町二丁目　ちゝぶや　電話八九〇番

◎元山より
綿布の入荷減退―大豆の移出活況―資金の需要增加―咸北流網漁業

▲元山地方に於ける最近の金融狀況を聞くに綿布類は一時好況に釣られて見越移入せられたるも實際の賣行き之れに伴はざると内地に於ける現物市場の不振に依り著るしく入荷減退し米粟の輸移入も期節柄且つは滿洲粟は銀貨昂騰の結果何れも仕入不引合となり平安、黄海道產粟は產地品薄の爲め此方面頗る寂寥を感ずるに至りしが出廻り遲緩なりし大豆は内地筋の買註文輻輳せる折柄米價の昂騰に伴ふ内地商狀の復活に誘致され移出活況を呈するに至り特に銀貨の暴騰に依り滿洲大豆の昂騰を氣構へ更に一段の人氣を强めたり明太は十一月下旬より本場新浦方面の漁獲始まり牛皮は相變らず移出盛況を繼續し此他干鰯の支那輸出開始等期節柄遂がに輸移出資金の需要は逐日活氣を呈しつゝあり

▲咸鏡北道に於て重要漁業に數へられたる流網は從來鰤流網の一種に限られしが明治四十四年咸北道廳に於て試驗の結果鰊流網起り次で現時最も有望なる鯖流網の流行を見るに至れり然るに先驅たる鰤流網は近年に及びて漁獲思はしからず兩三年不漁續きなりしが本年に入りて全く絶望と爲れり之に反し鯖流網は著しく豊漁の結果同漁業に從事するもの漸次增加し鰊流網も亦好望なるが如し

▲元山灣口虎島の沖合なる石根礁に於ける無看守燈の掛燈立標の設定工事は目下大部分の竣工を告げ近く點火する筈なるが同所附近は暗礁の散在せる小海峽にして數年前朝郵の船舶が遭難せし事あり咸北の航路にして南は釜山、北は清津、城津方面へ航行の要所なれば完成の曉は稗益する所尠からざるべし

寫眞　親切で安くて上手な　京城寫眞館　本町大門通分部永樂町

入院隨意（診察夜九時迄）
皮膚病　黴毒病　泌尿器病　生殖器　機能障礙
皮膚科
日曜祭日午後二時迄
京城明治町二丁目（元曙町）
佐藤醫院
（電話一一七三番）

◎連絡船上陸客　七日午前釜山入港新羅丸一二等客（百七十四名）一等（一名）李乘武、二等（十七名）手島萬次郎、末松多美彥、北脇孝太郎、小林源六、工藤雄一、菱木市嗣、同和子、林繁藏、櫻井利三郎、岡田きちよ、澤沼定之助、中村養次郎、弘毅太郎、三等（百七十四名）
七日午後釜山入港壹岐丸一二等客一等（二名）李熙昇、服部泰輔、二等（十六名）小松原直樹、平田俊太郎、堀しげ、同ちとせ、同みさ、石川濱次郎、鳥岩熊、長田豊子、茂美光世、坪田千惠、太田清松、李萬明、曾我福衛、道野竹次郎、原田□、三等（五十一名）

商況

東京株式特電

八日前場寄付　引

銘柄	寄付	引
日本郵船	……	……
東京瓦斯	……	……
鐘淵紡績	……	……
同新株	……	……
日本製粉	……	……
東株第一	……	……
東株第二	……	……
東新第一	……	……
東新第二	……	……

債券現物特電

八日出來値段（前日との比較）

銘柄	値段
東拓	……
東京瓦斯	……
朝鮮銀行	……
朝鮮瓦斯	……
南満鐵道	……

東公債直取引電

八日出來値段（前日との比較）

銘柄	値段	比較
五分特別	九六、二〇	……
五分甲號	八一、五〇	……
四分	……	……
四分	……	……
甲 五分	九五、四〇	……

深川在米特電

八日出來値段

銘柄	高
朝鮮米	三七、八七九
肥後米	六一、八〇七
加賀米	一五八、二一九

東期米特電

八日前場　　後場

	前場	後場
當限	一五、二三	……
中限	一五、二六	……
先限	一五、一三	……
止め	一五、二一	……

大阪三品特電

	前場	後場
十二月限	一二、〇〇	一二、〇〇
一月限	一二、〇〇	一二、〇〇
二月限	一二、〇〇	一二、八〇
三月限	一二、四〇	一二、三〇
四月限	一二、五〇	一二、四〇
五月限	一二、〇〇	一二、三〇

大阪期米特電

	前場	後場
七日前場十二月限	一三、〇〇	一三、〇〇
一月限	一三、二〇	一三、三〇
二月限	一四、〇〇	一四、四〇
三月限	一四、五〇	一四、九〇
四月限	一四、〇〇	一五、八〇
五月限	一五、七〇	一五、八〇

大阪株式特電

▲八日前場

	寄付	後場
當限寄付	一四、三〇	……
中限寄付	一四、六〇〇	……
先限寄付	一五、〇三	……
	止め	

銘柄	掛込	前日	六日後場
宇治川水電	五〇、〇〇	……	……
神戸電鐵	五〇、〇〇	……	……
京阪電鐵	五〇、〇〇	……	……
和歌山水力	三〇、〇〇	……	……
合同紡績	三〇、〇〇	……	……
福島紡績	五〇、〇〇	……	……
同上新株	三〇、〇〇	……	……
東洋精糖	五〇、〇〇	……	……
大阪商船	五〇、〇〇	……	……
日本郵船	五〇、〇〇	……	……
大阪米穀	五〇、〇〇	……	……
東京新株	五〇、〇〇	……	……
大阪株式	五〇、〇〇	……	……

下關期米特電

▲八日前場（受米確定品）

	當限	中限	先限
寄値	一四、三〇	一四、九五	一五、二五
高値	一四、四五	一五、〇〇	一五、三五
安値	一四、三〇	一四、九五	一五、二五
止め	一四、四五	一五、〇〇	一五、三三

雜報

◎株式跳返す　休日明け以來何等反動瓦落の傾向ありし株式界も何等熱狂後の餘燼旺んなる折柄とて押目には買氣の潛伏力頗る强く相場は昨後場に至り又々跳返し今前場の東京入電は更に主力株の再奔騰を報じ居れり（後大阪止め電は主力の瓦落を報ず）

◎和製板硝子　頗る好評に進みある板硝子は生糸高米價高等にて減退せるが一方製造會社側にては米各地共に遂に買氣を寄せ在荷著しく拂品は高値の爲め内地に侵入し來るの虞なきのみならず印度南洋方面に於ても米國品に代つて益々我供給を待たんとするの有樣なるを看取し十二月物も一二月物も幾分値段の引上を斷行し…より手持品の需要もは…

◎小賣白米値下　原料安に伴ふ精白の引弛みに連れて小賣白米も又八日より一升に付五厘の引下げを行ひ上白十四錢次白十三錢五厘及ひ上白六十四錢次白六十三錢と爲せり

◎糯小賣値段　不定の處八日愈々特等一升に付二十一錢一等十九錢並十八錢と決せり

下關相場

▲朝鮮米（低落）白米五百叺の移入ありしが產地の引緊み停へしと内地正米も不況にある爲め小口ながら相場低落を促すに至れる爲め朝鮮元山物…へは昨今可成り賣行ありたり
▲大豆（氣配）永洞物二百十叺昨の入荷に過ぎず一時週末來漸らきたるに安値は手持筋買惜みながら可成に買物現はれし爲

仁川米豆取引所仲買人　海岸町　今村覺次郎　電話長三三七、三六八番　電略（イマ）

◎出鉛線續て昂騰　亜鉛線は七日更に各番を通じ三圓五十錢高の入電あり十番以上二十四番迄は之を加算すれば八番二十一番と殊に二十番三十一番となりの銅番は一層氣配强きものゝ如し

◎洋釘新高値　洋釘は昨々日來高値に進みたる大阪市場も亦五時五分の各一圓…各五十錢高　地相場も之に準じて値上げ爲し一時は十分高二十圓二十一錢を唱ふるに至れり

◎精白引弛む　精白は十日前後より原料の漸時季に逐日値格引緩み一時は二十一錢十三圓六十錢より一昨十三圓六十錢に至るに至り今日にては頂上より約三四十錢方引下を呼ぶに至れり

◎内地安の出穀増加　が頃日來の内地安に連れて原料の引緩み…

◎綿布漸く樂觀　既報の如く氣迷ひの當地綿布界は七日大阪より入電の綿糸現物一圓縞布十錢高に接し得たるもの…

◎平浪板値上げ　大阪商報に連れて平板五錢浪八日より平板コメット一圓九十五錢浪板八尺一圓五十錢方騰貴せり市中相場は多少の歩引あるものゝ如し

一定期賣買の乘鞍情報提供　一報次第御進撥可申候　電話長六二八番・一五二二番

◎製粉更に高氣配　原料小麥の奔騰に連れて内地製粉市況は逐日騰を呈し各問屋の思惑的買談は引續き出來し一面地方筋の買物も亦盛んに行はれつゝあり而して東海道一帶は關西市況の一層强硬なる事情より東京注文頻々として出來し北陸信越東北方面も昨今に至り買氣旺盛を告げ居れり尚穀物商の目論東亞納め小麥手合は七升七八合位なるが更に買進まんか七升九合は容易なれば

此原料の打算は製粉三圓替れつゝある方針を以て買入る可く而して各社が現物二號八十錢乃至二圓七十五錢の唱へは殆ど標準のみにて因りたる手合に應ぜず殊に一二月物は三圓を唱ふる振合なれば拔道からず今一段の引締めを見されは止まざる形勢なり

一段と氣息洗く拔萎印は十五圓見當の高値を呼ぶに至りたるが特に大判物は品拂底を感じ標準相場立たざる現狀也

京城正米

品名	値段
朝鮮一等白（當用）	十四圓六十錢
同二等白米（當用）	十四圓二十錢
倭館大豆	九圓三十錢
太田大豆	九圓六十錢
同	九圓七十錢
永洞大豆	九圓六十錢
元山大豆極上品	九圓七十錢
同	十圓

▲小豆（行惱る）安東縣花小豆百六十…の入荷ありしが在荷の北海物を始め安東縣花偏中白小豆小口物々賣行あるに過ぎずして是亦米安の爲め買氣鈍ぶれると共に市況行惱りなるも遂ひて安値に賣り急ぐ物現はれずして保合商情

南大門の廻米

◎買十圓六十錢見當　現下の地廻り賣物は引續き頗る少く穀物出來は京釜線は不引合を脫せず八、十二錢の如き種力乘りの…なる際へ…

安歩調なり

品名	數量	品名	數量
富川糯	四〇叺	水原白	一九七叺
烏山糯	二六叺	水原大豆	三〇叺
烏山糯	七一叺	沙里院	一八三叺
金村粟	五五叺	汶山	二八叺
沙里院糯	三一叺	汶山大豆	一三九叺
沙里院糯	二七叺	成歡	六〇五叺
平澤白米	五四叺	烏山	九一叺
鐵原粟	三〇叺	金谷粟	二九二叺
鎮川粟	九四叺	平澤白米	二三一叺
平澤糯	四二叺	新義州粟	七二叺
平澤白米	七七叺	新義州粟	八〇叺
水原白米	八叺	平澤白米	四一叺
長風浦白	三七叺	大田胡麻	二九叺
大田胡麻	四二叺	金村	一二叺
水原粟	二二叺	水原	一四二叺
金泉胡麻	二九叺		

仁川現物市場

▲入荷總約四五百俵　氣配保合　…人氣保合…

仁川期米

▲八日前場　大阪前場五圓〇三錢…

◎十九錢と高移り　大阪四節十…
◎二錢と安移り　大阪六節十…

▲八日前場　中限㊀九圓八十錢出來…

市場零聞

△前場の商戰

▲前場底强し　大阪跡尙高…
七十三錢と躍進し…
▲結局六十九錢と…
氏强き散會…
▲下げ止り乎否乎…

仁川米豆取引所

八日の二月限

前場	値段
寄付	十一圓六十五錢
最高	十一圓六十九錢
最安	十一圓七十三錢
止直	十一圓六十五錢
出來高	二萬六千六百五十石

平均値段	
一節	十一圓七十七錢
二節	十一圓七十錢
三節	十一圓六十八錢
四節	十一圓七十八錢
五節	十一圓七十九錢
買取組高	

海岸町　吉　行賓仲買店　電話（…）

◎四圓四十七錢切…
◎大暴騰…
◎今一段下押…
▲下げ澁りの反動…
◎感じ居る大阪相場に比し割安…
▲餅搗相場如何…
◎幕を開始した餅搗相場の序…
極めて頓ぶる機敏…

株式だより

	十二月限	一月限	二月限
前日比較	一萬三千六百五十石	三萬六千石	三萬二千石

出來値	七日
	一、〇〇五
	一、〇六一
	一、〇六五
	一、〇五九

東京解散後の波瀾は…

小賣白米

	一升に付
上白	十四錢
次白	十三錢五厘
上白米五斗入	六圓八十錢
次白米五斗入	六圓六十錢

今月は　ゼヒこのホーカー液を　朝な夕なにお使ひ遊ばせ　アレを防ぐ、色を白く　キメを細に白羽二重の如に　垢ヌケのした美人となり升

アレ性の方に一番よき化粧料
ホーカー液

東京で一番よく賣れる化粧料ホーカー液は其品質の優良、効果の卓絶價格の低廉たるを以て貴婦人令孃間の高評を博し東洋第一の光榮ある賣行を有するに至れり今や向寒の折柄益々御愛用を乞ふ

ホーカー化粧液　本
ホーカー美髮液
ホーカー白粉　店
ホーカースキート
東京神田區和泉橋　堀越嘉太郎商店

●壹萬册　無代進呈　内外書籍目錄　讀書界唯一の羅針盤　ハガキにて御申越次第御送呈す　大阪　東區備後町心齋橋筋角　高山堂

新酒賣出し　上酒一升に付一金拾八錢　一金參拾錢　但樽代左の通り當店にて負擔仕候　各驛迄の運賃一斗入六十錢。二斗入及四斗五升入は一圓　大邱北旭町　齋藤酒店　電話三四九番　振替八二六番

期米　我富之寶無代進呈　取引所仲買人　正　橋本猶作　電話長…

鑛山用　水銀　新荷著　保税品有　京城本町二丁目　釘本藤次郎本店　電話四五番二七四番

瀬戸皮膚科外科醫院　旭町二丁目（舊三丁目）　醫學士　瀬戸潔　診察夜九時まで　（電話二九四八番）

醇良清酒　白鷹　都菊　大阪府堺市　醸造發賣元　肥塚源次郎　京城本町二丁目　特約販賣店　佐藤牧太郎　同本町三丁目　特約販賣店　明治屋支店

報　今日　…

越後大評定

第六十七席 早川貞水口演

大久保彦左衛門の登城

天海大僧正は、御供も御伴れにならぬで只一人、江戸城の大手先までホク／＼御入來になる、大手御番榊原隼之助殿、後に榊原越中守となる方で御坐います、此御方の御家來が天海僧正を未だ御見上申したことがないから大僧正とは氣付かぬ、尤も大僧正と云へば、武家の官位にすれば從二位大納言、大した勢ひのものであるのに今天海僧正御一人でお入來ぢやから、見損ふのも無理はない○『ア御僧、此處は濫りに通行いたする所ではない 天『イヤ苦しうない ○『苦しうないと申して、此處はいかぬ 天『イヤ／＼仔細はない ○『コレ／＼氣でも狂つて居るか、此處は江戸城、將軍家の御城だ 天『心得て居る ○『困つた坊主だな、心得て居る……御同役如何いたさう』と云ふ所を隼之助殿御覧になり、ツカ／＼ツと御入來になつて『控へろッ』飛下つて『御僧、只今は臣下の者御無禮の段、御宥しを 天『仔細はない、心配するな、アー知らぬことは致方が御坐らぬ』ニコ／＼笑を含んで御通りになる、直ぐに此事を申上げたから御玄關までは水戸殿が御出迎ひ、續いて御老中、若年寄、以下御奏者に至るまで、ズーッと御出迎ひをする御案内に從いて將軍家御控への廣間に進むと、左右の者一同平身低頭、

天海大僧正まづ御三家へ會釋をして正面なる三代公に向ひ 天『將軍家には臆はしき體を拜し、恐悦至極に存じ奉る 家『師の御坊、匆々參られ、予も滿足に思ふ 天『有り難き仰せに御坐いまする 家『未だ彦左衛門は見えぬか』御傍から『ほどなく御登城と心得ます 家『師の御坊、此度越前福井城に於て、仙千代丸を大將と致し、老臣共籠城の決心、予に對して弓箭を向けるとは、一門の身を以て如何にも不埒千萬、是より軍勢を繰出し福井城を一破りに致さん決心、御僧の意見は如何あるか 天『ホヽ、ホ、一ツ、承りますれば越前福井家に於かせられては、御籠城の御決心との事、アー天晴なる越前の御覺悟、流石は御女性なれども勝姫君、二代將軍の御息女にして、將軍家の御姉君に在はするだけに、御武勇御決心の程、一入御見上げ申したり、なか／＼以て男子も及ばざる所、また籠城の老臣共、かねて戰塲萬馬の間を往來なした老功の兵者、イヤ一廉の覺悟の臆は美事美事』何だか知らぬが、賞めるのだか、嬲るのだか、天海様頻に御感心の容子、所へ彦左衛門出席、一同へ御會釋の上『將軍家には上使を賜はり、有り難く存じ奉る、何日もながら麗はしき體を拜し恐悦至極 家『彦左、越前福井へ軍勢を向けるの覺悟、其方は何と考へる 彦『承りますれば仙千代丸君大將として老臣守護に及び、御治見は勝姫君にて、御籠城の御決心とのことイヤ流石は御一門第一の御家だけあつて、越前家の御武勇、御女性とは申しながら勝姫君の御決心、また御幼君なれども仙千代丸君の御大將、實に美事千萬、是でこそ二代公の御息女、將軍家の御姉君、御見上げ申したもので御坐る、斯くあつて天下の武は未だ地に墜ちぬ、益武道は盛大とや申さん喜ばしき事で御坐る』天海様と同じやうなことを云て居る。

十二月十日九星 舊十一月四日乙亥 本命三碧 東 閉 友引

●三碧● あと戻りする事有り注意 新事見合 此の方は吉 [illegible] ▲四緑● 想の届くは轉居 行商 金件入學求職 出 [illegible] 縁組試驗に受る [illegible] ▲五黄● 立てられ損となる事有り [illegible] 新事手控 土工は妨なし ▲六白● 行懶の事有り 新事手控 事は吉 縁生に注意せらるべし ▲七赤● 案外なき事有り 新事手控 [illegible] は吉 保證契書等せぬがよし ▲八白● 力づくにゆかぬ事有り 新事手控 吉 [illegible] 事を謹まるべし ▲九紫● 高尚の日 轉居 行入門名弘金件求職婚禮開業 ●一白● 買き日 轉居行商 入學名弘金件 [illegible] 入學校 [illegible] 開く等萬吉 ▲二黒● 片荷 [illegible] 有り新事手控 [illegible] 婦人と相談を忌む

演藝案内

大正館 櫻井町 電話八七三番

十一月七日より新寫眞提供 ●實寫アイスランドの風景 ●喜劇伯父の奇計 ●舊劇 [illegible] の初奉公 ▲佛國エクレール會社傑作 ○泰西大活劇秘密の書類(原名男婦エラー) 全三卷 今 [illegible] 水長講演 ▲尾上松之助一派出演 ○舊劇實録仙臺萩 全三卷 賤太夫竹本勇太夫出 [illegible] 動め申候 ○探偵奇譚探偵の情け 最大長尺 ▲立花幽根一派出演 ○新派悲劇忍び駒 全三卷二十五場 意氣あり意地ある市城の浪姑話 けば是非お逃す可からざる近來問題の大寫眞也 大然色活動寫眞株式會社滿鮮一手代理店

黄金館 黄金町四丁目 電話二六三七

十二月二日より全部差換 ●歐洲戰亂新報 白軍機關銃隊軍犬の活動 ●滑稽 牛日ホテル ●滑稽ルニーの人命救助 泰西正活劇 酒の罪 全三卷 ●來れり天活會社が最近の大作品にして三部至る所に於て大好評を博したる 舊劇實録信田狐 全四卷廿八場 け懸しくば尋ね來て見よ和泉なる信田の森の恨み葛の葉 姫の白狐 恩に報ふに葛の薬師の変な借りて阿部保 名と同穐し童子が歸く、そも此童子長ずるに及び 大内に仕へ惡人芦屋道滿を亡ぼせしと云ふ物 語の殘る陰陽大家阿部晴明の實傳 御に客様の御便利な [illegible] 致券發賣仕り候音樂隊の招 聘に應ず申込は電話 [illegible] 七七へ

浪花館 明治町 電話二六〇番

十二月四日より ◎新派讃の名人京山恭爲一行 (大阪直行初登場) △籔井玄意(爲春)△木津勘助(圓洲) △水戸黄門記(若春)△北海奇聞雪夜 物語大江道寶二席△軍事探偵橋中尉 一席以上三席(恭爲讃演) 毎日午 六時より晴雨に不拘開演仕候

壽座 本町 電話五七八

日本活動寫眞株式會社專屬 十二月八日より忘年活動大寫眞 ○滑稽 小僧五ダース ○喜劇 [illegible] 往來 ○番[illegible]英[illegible]の曲藝 新派現代悲劇『夜半の鐘』上中下三卷 東京やまと新聞連載小說にして最も新らしき家庭の實状を現はしたる現代劇にて更け行く夜半の肌寒き遠山寺の鐘の音に聞くも可憐な少女の浮沈を畫がきし大悲劇 ○泰西大活劇『トニア』全五千呎大長尺 日活飜譯のヒルムにして『トニア』とは果して何者?最も趣味多き忘年活動中の呼物は他館になし 偏り座『トニカ』あるのみ ○舊劇『鶏の權兵衛』上中下三卷 お馴染の尾上松之助一座出演にかゝる天下の無敵豪傑の人より武士となり姫名を天下に轟かせしと云ふ 貫も花もある忘年劇として最も趣味多し 御見物は興行たつた七日間

御成座 御成町 電話二一九一

△新派定設第八十五回目替狂言 一番目 黒法師の作 波の寄邊 全八場 二番目 喜劇 心の錦 全三場 大阪若手新派劇進歩團一行 木山の重なる配役 筑波家母(桂木時夫)一筑波孃子(石黒史郎)安子(泉三郎)筑波旦一(小泉忠太郎)安川貞一 小夜子(桂木時夫)番匠志村(川上源太郎)春日俊夫(小村武夫)筑波只一(小泉忠太郎)安川貞一(白川一志)今信一(日野萬一郎)

大典特別 大觀艦式 寫眞 眞頒布 實費

壯觀無比、萬戸必備の絶好記念品!!右は横濱港外に於て御擧行の大典特別大觀艦式の光景を最も美術的に撮影し優良なる不變色寫眞紙を用て額面用に調製したる物にて有り觸れたる單に軍艦を羅列せる如き不趣味なる物或は一時的印刷物と根本に於て大に相違し御大典紀念として各戸必ず備ふべき唯一無二の紀念品たるもの也 定價金五圓 實費 金參圓 送料不要 實費部數僅少なれば 猶豫なく御申込あれ 然らざれば萬代の記念品も永久手にし能はざるべし

東京市芝區南佐久間町二丁目六番地 申込所 三河商店寫眞部 電話芝四〇七二番

りん病

自宅で人知れず秘密に治るフシギの妙藥あり 只一劑を試よ 切手三錢送れ其妙藥と自宅療法の詳細を報す 困る方多年の慢性も治る 名古屋市南かじや町 武藤邑吉

三大特長 品質卓絶 最も廉價 於大正博覧會 名譽大賞牌受領 三田土ゴム製造合名會社製造 發賣元 大阪南船町四 飯田商店

花の都 優良石鹸

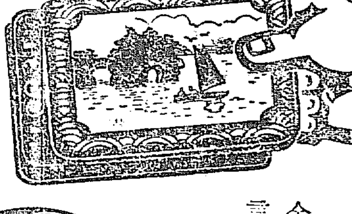
マスト石鹸發賣元 東京 大阪 野村外吉商店

七日ツケタラ鏡をどらん色白くなるゲンソ液

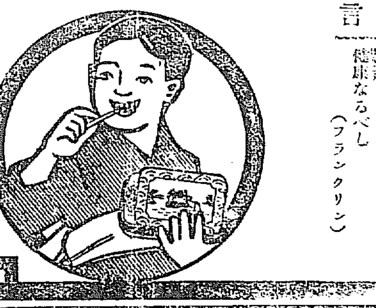
今東京で大評判の白美の元素アレ性の人色黒き顔赤き顔日ヤケ白粉ヤケを防ぎ根本的色白く眞の美人に男子さへなる(價廿錢) 全國の藥店小間物店に販賣す 本舗 東京神田和泉橋際 松本藥店 關西代理店 大阪東區博勞町五丁目 松井時本店

仁丹

食後に仁丹飲めば 胃腸强健、誰様も缺かさず召上れ



金言



飲食を節せよ然らば汝は健康なるべし (フランクリン)

御地方の御方々へ

▲御註文の栞

先以て御一覧被下度 御一報次第圖案差上候

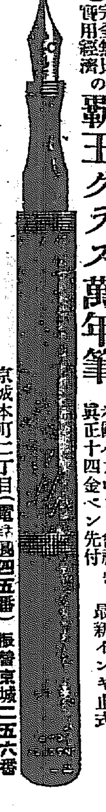
▲御來京の節は東京御觀光の一として御休みがてら是非御立寄り緩々御遊覧被下度御待申上候

▲御婚禮のお支度調進は松屋の最も得意と致す處にて御服裝より御道具類迄懇切に調進申し上げ候

營業品目 吳服太物、唐物、洋織物、マント、コート、毛布、帽子、鞄、袋物、化粧品一式 貴金屬、文房具、玩具、陶磁器、洋傘、履物、寢具等悉く嶄新の品豊富に取揃へ簡易と懇切を旨と致し御用承り申候猶日下御婚禮支度陳列會開催中に有之候 ◎御婚禮支度御案内書は御申越により贈呈仕候

東京神田今川橋 松屋吳服店

目錄送呈



◎完全無比の覇王グラス萬年筆 實用經濟 米國パアレット會社製 眞正十四金ペン先付 最新インキ止式

●諸官衙銀行會社其他團體にて多數御購買の向へは特に割引仕候

●朝鮮總代理店 京城本町二丁目(電話四五番)振替京城二五六番 釘本藤次郎本店

模範 牛乳 純粹 滋養 最上 太正搾乳器使用 京城 東亞牧場 (電話五二番)

於大阪明治拓殖博覽會名譽金牌受領

陸軍御用達 最上醤油 芳香風味 濡鮮逸品 釀造元 平壤 宮川商店 長電 振替京城七〇四

大阪商船仁川出帆

○中國四國沿岸各港行一聯切符を以て連絡切符御發賣仕候 ○外國航路(沿岸航路を除く)御乘船の時は右の割引を以て連絡切符發賣仕候

○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行 温州丸 十二月十六日 午後五時出帆
漢城丸 十二月十一日 午後五時出帆
汕頭丸 十二月十一日
○木浦、釜山、長崎行▲は應原地の沖に寄港
×安東丸 十二月九日 午後二時出帆
×▲天智丸 十二月
○鎭南浦、大連行
×安東丸 十二月二十日 午後二時出帆
×城津丸 十二月十三日
◎鎭南浦、龍岩浦、安東縣行
◎漳州丸 十二月 日正午出帆
×門司大阪行
×彰州丸 十二月九日正午出帆
○群山、釜山、横濱行
△千珠丸 十二月二十日 午後四時出帆
△チヨイサン丸 一月一日
○大連直行
△千珠丸 十二月十四日正午出帆
△チヨイサン丸 十二月廿八日
○清津、浦潮行(元山出帆)
▲は城津西湖津に寄港浦汐不寄港
地久丸 十二月十八日 午後三時出帆
宮丸 十二月八日
▲大智丸 十二月十四日
○上海、基隆、打狗行(大連出帆)
湖北丸 十二月廿九日 午前十時出帆
新高丸 十二月十七日

御注意 ○朝鮮鐵道及内鮮各線との聯絡切符發賣仕候 ○御乘船客は本船出帆前一時間前無賃送り申候 ○×印は一等客御斷り △印は船客御斷り

仁川切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話一二〇番 五五〇番
京城切符發賣所 内國通運會社支店 電話七八〇番

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
秀吉丸 十二月 日 後四時出帆
若代丸 十二月 日 後四時出帆
神代丸 十二月 日 後四時出帆
大有丸 十二月 日 後四時出帆
○群山、大阪行
第二太湖丸 十二月 日 後五時出帆
土海丸 十二月 日 後四時出帆
仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

阿波共同汽船仁川出帆

東京芝罘、大連行
大連經由芝罘行は本船芝罘にて青島行定期船に接續御乘客荷物通し扱可仕候
第一共同丸 十二月 日後二時入港 十二月 日前九時出帆
西湖津沿岸各港を經て雄基行
城津、清津、浦鹽行(元山出帆)
第一阪鶴丸 十二月 日後九時入港 十二月 日 出帆
第三共同丸 十二月 日前八時 十二月 日出帆
阿波國共同汽船株式會社
本町一丁目(電話一〇八番) 山下回漕部
仁川代理店 田口回漕部
京城取次店 河村運送店

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行 立神丸 十二月廿一日後五時出帆
○元山城津浦鹽行 立神丸 十二月九日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行 小倉丸 十二月十四日後五時出
○元山、清津、浦鹽行 小倉丸 十二月廿三日後十時出
○元山、西湖津、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 十二月廿一日後九時出
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 十二月十二日後六時出
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 天眞丸 毎月二日九日廿六日 午後十時出帆
釜山港埋立新町 木船取扱店 大池回漕部

日本郵船仁川出帆

○大連、秦皇島行 相模丸 十二月廿七日 正午出帆
○大連、太沽行 三河丸 十二月十一日 正午出帆
薩摩丸 十二月 日 正午出帆
仁川海岸町一丁目 電話十二番 堀回漕部

朝鮮郵船

仁川出帆 電話一九五番 三三番 其他出張所、代理店、商客取扱店に御照會願上候 京城南大門前 松原運送店 電話(二七)

全羅丸 十二月十四日 釜山發
京畿丸 十二月十八日
咸鏡丸 十二月十八日
成興丸 十二月 日
(仁川より釜山各港蒸汽船に寄航)
鎭城丸 十二月 九日 元山發
昌平丸 十二月十三日
鏡城丸 十二月 日
(元山より各港經由雄基行)
平壤丸 十二月十三日 元山發
忠南丸 十二月 日
(城津、清津、浦鹽行仮航釜山經由門司)
永興丸 毎月廿八回 元山發
(北久味、吉見浦行又は長崎延長)
嘉島丸 十二月四日 釜山發
(甘浦、九龍浦、浦項各港寄港雨陵島行)
江陵丸 毎日 (釜山浦項)發
(長生浦、方魚津寄港)
三浦丸 十二月四日 釜山發
(長承浦、統營、巨文島、濟州島各港行)
海州丸 毎 釜山發
統營丸 三日目毎 木浦發
(各港經由麗水(三日目)木浦行)
順天丸 三日目毎 木浦發
(各港經由麗水行麗水より仁川行に接續)
慶興丸 十二月 日 木浦發
(各港經由濟州島行(西廻))
公州丸 十二月十二日 木浦發
(南多島海列島行(月三回))
公州丸 十二月 日 木浦發
(各港經由濟州島行(東廻))
宗信丸 十二月十 日 仁川發
(海州他各港經由、鎭南浦行)
江原丸 十二月 日 仁川發
(芝罘、大連、青島行)
龍水丸 十二月 日 仁川發
晋州丸 十二月十一日 仁川發
(各港經由木浦行)
全州丸 每日午前 仁川發
南陽丸
(江華島、楊花島、海州行)
平安丸 十二月六日 群山發
(住航大黒山、木浦、門司、復航門司、木浦、群山行)
若松發

京城日報
九日朝刊
（第二千九百六十七號）
本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾錢（郵送に限り）郵税共三ヶ月金壹圓九拾錢 六ヶ月三圓七拾錢 ▲郵券代用二割增
廣告料 ▲五號活字一行金[illegible] ▲特別欄內一行金壹圓[illegible] ▲三號活字[illegible]
發行兼編輯人 奧田直毅 印刷人 [illegible]
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話 [illegible] 振替貯金口座京城三〇〇番

第三版 期米 寄付 高値 一四八〇 一五一五 一五二八 一五六〇
▲後場の大激戰 [illegible]
後場 寄付 十四圓六十七錢 高値 十四圓七十八錢 安値 十四圓六十六錢 止値 [illegible] 出來高 二萬六千百石
一月限 三萬六千五十石 二月限 二萬二千四百石

京城日報

歐洲の戰局

秋來歐洲諸戰線殆ど交綏狀態を呈し、獨り巴爾幹戰線のみは日夜活氣を添ふるの有樣なりしも、今や塞耳維の全土敵手に落ち、此方面の事も亦此に一段落を結び、敵味方共に冬期對陣の準備に忙はし。

抑も此度の大戰役は、昨年七月墺洪國と塞國との衝突に依りて其端を起し、露西亞は塞國を救ふの名の下に、獨逸は墺洪國を救ふの名の下に、交々干戈を取りて起ち、此に世界的大戰役を馴致せる次第にして、白耳義戰爭以來列國間の主力は佛白戰線に殺到し、既にして波蘭及び露國內に於て獨露力爭久しきに涉り、震源地たる塞國は却て世人に閑却せられたれども、過日獨墺軍塞國を衝き勃牙利亦之に應じて起つに及びて、風雲忽ち危急を告げ、幾くもなくして塞國全土を席捲し去らる、英佛二國其兵を希臘サロニカに上陸せしめたれども之を援助するに遑あらず、露國亦塞國の爲めに一兵を投ずるの勞だも取るに及ばずして此に至る、今や其政府の所在地定らず、其君主すら行衛不明なりと稱す。

塞爾維は由來スラブ民族の一大國にして、十四世紀中マセドニア及び北希臘を領有し、洪牙利の一部を支配して雄を東歐羅巴に示したるとあり、一旦衰弱して土耳其の領土となり、十九世紀中獨立して、其國土一萬八千六百五十方哩、最近人口二百九十一萬人、塞國にはボスニアヘルツエゴビナを併呑して、古時の面目を回復せむとし、常に大塞爾維運動に熱中す、此熱中は偶々塞國民に[illegible]し、昨年墺洪國皇太子を弑したるは同運動者なりとの故を以て、今度の大事件を勃起したり、顧ふに今日は大國民の世界なり、土廣く人衆く富み且強き者にあらざれば今の世に立ち難し、況や弱小國にして而して事を好むものに於てをや、白耳義人は事を好まざれども、其の弱小なるの故を以て昨年開戰初頭の犧牲となり、塞爾維人は弱小にして且甚だ事を好む、爲めに自ら困厄を招くものに外ならず、而して戰局の大勢に就て之を見るに、此度の戰役は、塞爾維の爲めに始まりて列國間の大爭鬪となり、遂に循環して今日の塞國戰爭となり、此に戰鬪上の一大段落を結ぶ、大勢より觀るときは、即ち是れ此大戰役の終末を示すものなり。且今日露國戰線は敵味方共に小競り合を試むるのみにて、捗々しき爭鬪を爲さず、佛白戰線も徒らに塹壕を穿ちて相對するといふに止まり、其作戰一も見るに足るものなし、伊軍墺國內に入るも、是等すら踏躞逡巡小康を較するに過ぎず、折角世人の耳目を集めたる巴爾幹戰線も今既に終れり、特に冬期の寒風雪荐りに至る處にては、實際上休戰の外あるべからず、是れ昨今巴爾幹に於て媾和運動甚だ盛なる所以なり、媾和の時期至れりや否や、未だ知るべからずと雖も、戰鬪の時期は既に過ぎ去れり、少くとも現在の戰線に於ては最早作戰の餘地なし、新たなる戰局の展開なき限り、復た敵味方間の決戰を見ることなかるべきなり。

輸移入米粟と防遏策

四年度の減退は特種原因 防遏の根本策と奬勵事項

外國米及び粟の輸入は從來極めて微々たるものなりしが、大正元年末頃より遽に增加し大正二年に於ては外國米二百九十二萬七千九百十九圓、粟二百八十九萬七千七百九十五圓、大正三年に於ては外國米二百七十二萬三千三百五十八圓、粟百十四萬七千六百二十圓の輸入を見たり、然れども本年に入りては外國米、粟の輸入も何れも著しく減退し、一月以降十月末迄の輸移入額を見るに外國米二十九萬一千四百圓、粟七十六萬三千百八圓に過ぎず、蓋し是等

△輸移入の減退は大正三年に於ける米の生產豐饒なりしと、殊に又外國米は戰亂の影響を受け船舶の不足並に航海の安全ならざりしとに依る可く、尙ほ昨年末以降米價の低廉ならざりしことも自然之等の輸移入減退を來したるものと認めらる、即ち大正二年及び大正三年中に於ける朝鮮米の輸移出價格と外國米及び粟の輸移入價格とを比較するに左の如し

匹別	大正二年	大正三年
朝鮮米移出價格	一四、九八二、三七四圓	一七、九八八、八六一圓
外國米及粟輸入價格	五、八三五、七一四圓	三、八七〇、九七八圓

右は特殊の現象にして歐洲戰亂の終熄並に米價の恢復するに於ては之等の輸移入は再び增加するに至るや必せり、斯の如き輸入增加は朝鮮に於る

△諸雜穀の價格を低くし其の栽培をして危險に陷らしむる而已ならず、春季食糧の缺乏を來し草根木皮を食して飢餓を凌ぐが如き貧民少からざる今日に於ては主として朝鮮內に於ける是等食糧の消費を增加するに止まり、米國米及び粟の輸入は直ちに之に伴ふ朝鮮米の輸移出を見るに至るべきや亦頗る疑問なりとす、之を以て總督府に於ては先年來食糧の缺乏を補ひ米の輸移出を促し兼ねて農家の經濟をして裕かならしむるが爲め奬勵し來れる甘藷、馬鈴薯作並に畓二毛作としての麥作の增加等に對し今後一層の指導奬勵を加へ以て補食物の生產を增加し朝鮮米の輸移出を促進して遂に外國米及び粟輸入防遏の域に達せしめむことを期し居れりと

新支那漫言 五

布施知足

西力の東漸は明白否むべからず、列強競爭の中心が支那に在るや亦論なし、然れども之を以て直ちに歐米が支那に於て領土上の野心あるものとし、因て日本の對支政策を樹てんとするに至つては亦異論なき能はざるなり、而も我邦の輿論として之を以て自明の理なるが如く考へ、支那の異論を目して頑迷濟ふべからずと、抑も知らず我邦が自から宜して支那に賓らんとせる誠意と云ふもの幾許か支那に撤底せる、吾等は支那が夷を以て夷を制する政策の實行者なるを聞く、而も支那より觀て亦已を得ざるの策なるを思はずはあらず、一國の力は其背景たる一國文明の力なり、吾等は未だ我邦人が自國の文明に對し幾許の自信あるかを知らず、然れども之を支那より觀て其文明は未だ眞に倚賴するに足るものと認めざるを知る、抑日本の對支實勢は如何、更に日本は支那の新國家を形成せしむるに幾許の努力をか致せる、數字が列國對支實勢の優劣を示すものとせば日本は其供給せる資金に於て人材の數に於て將其の敷設若くは管理せる鐵道に於て他に比して未だ遜色なき能はず、獨り貿易額に於て近年頗に長足の進步を見ると雖も猶悉く他を拔く能はざるなり、僅に長ずる所は兩國距離の近きと在留人の數の多きとのみ、而も頻りに交通線の開くること今日の如き支那に在ては今の所謂距離の近きも果して能く何時まで恃むを得べき、在留人數の多きは長所なると同時に亦短所たらずばあらず、何となれば支那が日本を拒むは寧ろ主として此點にあるを見ればなり、支那思へらく歐米の爲に地を開くの結果は即ち專ら其器械巧智風俗習慣換言すれば其文明を招徠するに止まる、日本の爲に地を開くはこれ當面に人間を招徠するなり、他人種の侵入は平和の戰爭なり、況や日本が支那に臨むは國として其文明を以てするにあらず、實に個人が支那人の競爭者として當面に生活の戰ひを挑むものなり、之れ何ぞ排せざるを得んや、不幸にして吾等は支那の此意見の中に若干の眞理を認めざるを得ざるを悲しむ、實に邦人が彼地に行くは文明の教師としてにあらずして職業の競爭者として在り、彼等の生活は其生活に於て何等優秀なる日本の趣味を携ふる事能はず、其上流なる者の生活は之れ西洋生活の餘光を借る者なり、其下流なる者に至つては即ち支那の生活を眞似て更に下る、此の如くにして吾等は支那が未だ日本に倚むの念を起す能はざるを咎むるの理なきを思はざるを得ず、更に考ふれば支那の現狀は列強勢力平均の下に在り、均勢の破るゝ時は即ち支那が何等かの負擔に苦しむべき時ならずはあらず、均勢の破るゝは一國が他國を拔いて勢力を得るに初まる、吾等は支那が此の如き形勢を致すべき國は其何國たるを問はず之を喜ばざるべきを知る、豈日本と歐米とを分たんや、吾等は此點に於て又我邦人の憤が甚だ所謂なきものたるを見るなり

放浪漫記

大谷光瑞

三十一日夜十一時、濟南府に到着致候。天津以南は獨逸經營の鐵道なるを以て、機關車は無論客車貨車、悉く獨逸の輸入に係り、停車場建築も亦獨逸風を用ふ。急行車を牽引せる機關車は4―6―0型、シエミツドの過熱器を有せる強力の者にして、京奉線の比に非ず。但し客車は京奉線に比し優等と云ふべからず。唯展望車に類せるプルマンドロウイングルームカーの形に近き者を有するは、や〻佳なりと雖も、裝飾其他に至てはプルマンカーに及ばざるは勿論、全般に南滿特別急行車に及ばざる事遠し。食堂車は輕量にして而も彈條不良の爲、衝動頗る激しく不快云ふべからず。軌條は京奉線より重きが如し、京奉線も津浦線も、共に使用人の殆ど全部は支那人なるを以て、不備不潔にして南滿線より來るときは、特に不快を感ぜざる能はず。

十一月一日濟南府を巡覽致し候。城南に歷山あり、高さ二三百尺なれども登覽するに府城黃河樹林村莊一幅の地圖の如し。山嵓に刻するに佛像を以てす、故に千佛山の名あり。然れども其刻するや近代に係り、既に妙相の端嚴を缺ぎ、見るに足らず。この山と府城の間は、太古舜の耕せし地なりと稱す。今は石灰岩脈の露出せる間に、墝埆榮々たり。蓋し舜時も石灰嵓は依然たりしなるべく、定めて耕耘に困難を感ぜしならん。府城の內、北壁に近く大明湖あり。城內人士春夏遊覽の勝地と稱せり。然れども湖中に區劃を施し、葭葦を植ゑ內に魚族を蓄殖するを以て、遊舫に棹すもの宛も迷路に入るが如く、丈餘の葭葦の中を左轉右廻するのみにして、煙波萬頃の佳趣を缺げり。中に荷花多し。夏曉涼を趁ひて淸香を賞するもの甚だ多しと云ふ。然れども是藕根を得ん爲に植うる所にして、同じく小區劃中に所有權を限定せられ、花中に恣に入るを許さゞるが如し。濟南府官憲宜しく英斷を下し、全湖を開放し公園となさんことを望む。財賦の源本より乏しからず、湖中に區々の利を射ざるも、府費給し難きに非ざるべし。唯水の淸冽なるは、支那全土中稀に見る所にして、杭州の西湖を以てするも、遠く及ばず。この水は城內に於ける突泡泉より來る。泉は呂祖廟の中にあり。沸湧溢れて溝となり大明湖に入る。其量頗る巨大なるが如し。其他城內各地に井あり。皆淸水を噴出し、黃濁に慣るゝ日には、却て其淸冽に驚けり。

現在我邦人の住するもの二千有餘にして、殆ど全部は靑島占領以後の移住に係る。他の外國人の住するもの百餘にして、大部分は獨逸人なりとす。故に我邦人の勢力は、僅に濟南を壓せり。唯口數に比し資力の伴はざるは、其來るや巨資を擁するに非ず、是れ我邦人の通弊にして、濟南も亦其例に漏れず。山東鐵道は滿洲鐵道と異り、殆ど純鐵道用地に過ぎざる陝隘にして、鐵道附屬地なるもの頗る少なし。故に一般邦人は皆商埠地、卽ち支那官憲の、一般外人に開放せる區域に居住せり。是れ當初に於ける獨逸經營と、露國經營と、甚だしき相異ある所にして、從つて兩國の經營を襲承せる我邦は、又南滿山東の二所に著しき差あるを免れず。概論せば露國經營の雄大なる點は、到底獨逸の及ぶ所に非ず。（未完）（十二月七日南京に於て）

列強と巴爾幹戰

羅國の態度――要領を得る協商側――唯日時の問題のみ

巴爾幹戰に於ては塞國既に滅亡せしより更に他の方面に於て展開せられざる可からず、此の時に當りマッケンゼンの率ゆる獨墺軍の一隊は近く羅馬尼の國境に向つて集中されつゝありと報ぜらる、之れ露國が最近十餘萬の大軍をオデッサに集中し討勃の決心をなせりと傳へらるゝに對して備へんと欲するものにして、向後羅國の態度如何によりて此方面に兵火の開かるべきこと必然を期すべからず、只同國は面のあたり塞國の慘狀を目擊して殆んど手の下すべきを知らざるが如く、鋭意嚴正中立を標榜し只管戰禍を脫れんと努め、一方獨墺に對しては勃牙利國行の貨物通過を峻拒すること依然當初に於けると同じきと同時に、一面露國に對しても其の國土を通過してダニユーブ地方に遠征せしめんとする提言を拒絕しつゝあり、然れども勢の決する處何れの日迄能く此の策を持續し得べきやは、列強死活の分岐點に起ち強要に次ぐに強制を以てする彼我交戰國の實力的大壓迫は局面の緊張するに從て益々其の度を加ふべく、遂に愈々苦境に陷るべきは察するに難からざる也、希臘の態度に至つては今日に至るも尙ほ決するに至らず、依然當初の問答を繰り返しつゝあるは羅國と同じく全く止を得ざるの結果にして、想ふに協商側は斯く其の不得要領裡に或程度迄要領を保ちつゝあるべきは明なり、而も協商軍は今や最早塞國救助の必要なければ希臘北部の境上に於て獨墺軍の南下を支へ以て地中海上の安全を保持せんとするに止むべく、而して獨、墺、勃軍は全力を擧げて其終局の理想たる蘇士運河の封鎖戰を敢行するか、或は波斯灣頭に殺到して極力英國の急所を衝くと同時に能く大局を決せんと努むるに至るべし、其の何れの日に之が實行を見るやは素より時日の問題にして今猝に斷ず可らず、要するに今後に於ける彼我努力の程度如何により徐に其推移を待つべきなり

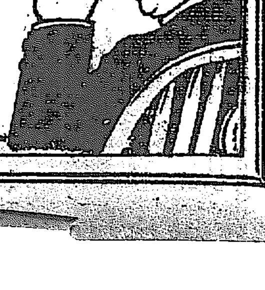
朝鮮彙報

朝鮮彙報 大正四年十二月一日（定價貳拾五錢郵稅三錢）

主要目次

◎口繪（京城景福宮に於ける京畿道賜饌場 京畿道廳に於ける養老木杯並酒肴料授典式 果實及蔬菜（三色版））
◎即位禮當日紫宸殿の儀に於て賜はりたる勅語
◎內閣總理大臣の奏したる壽詞
◎御大禮記事
◎朝鮮現下の園藝を難じ反省を促す 勸業模範場園藝支場長 久次米邦藏
◎肺二口虫病研究第一回豫報 醫學博士 森安連吉
◎靑島の殖林事業（完） 營林廠長 齋藤音作
◎臨益水利組合の沿革及事業成績 ◎優良面長篤行者等表彰
◎平安北道農業所見 總督府技師 中村彥
◎燃料としての籾殼利用に關する調査 農商工部農務課調
◎水原樹苗圃の土地改良 ◎遞信事業概況
◎電氣監督事務 ◎九、十月中の鐵道運輸
◎普通學校に於る勤儉の德性涵養 ◎農業に關する俚諺及迷信
◎赦典に就て ◎京城に於る衛生施設の近況
◎水上警備 ◎開業醫師資格別
◎赭色土壤の改良及利用に就て 勸業模範場技手 三浦岩明
◎朝鮮人の條虫病と食肉衛生の關係 ◎露國に於る戰時救濟事業
◎外人の見たる朝鮮 ◎船荷證書樣式に關する注意
◎地方通信 ◎質疑應答
◎朝鮮貿易概況 ◎雜報 ◎敍任及辭令
◎學校組合一覽 ◎關釜連絡狀況 ◎旅客出入鐵道統計
◎朝鮮語と滿洲語蒙古語との關係（完） 文學博士 金澤庄三郎
◎法令及通牒 ◎朝鮮舊慣に關する回答 ◎民刑事判決例
◎附錄 始政五年記念朝鮮物產共進會農商工部鑛務課出品目錄及解說書
◎投稿を歡迎す 原稿締切期限每月十日
◎販賣店 東京神田巖松堂、朝鮮各地の書店に販賣す

朝鮮總督府裁判所書記 早川保次君編著
再版 改訂增補 朝鮮不動產登記 朝鮮商業登記 申請書式並心得
▲紙數四百八十頁。代價金壹圓。郵稅金拾錢
發行所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

百萬金を投ずるも健康は購ひ難し
蜂印香竄葡萄酒は
朝夕一杯宛にしてよく身体の健全を保ち精力の增進を來す
何となれば無限の滋養と其美味とはすべて血となり肉となり力となる
內外國の最高金銀牌受領二十四個

發賣元 東京本町 近藤利兵衛

第四皇子御命名御儀

第四皇子殿下御命名の御儀は八日午前十時青山御所産殿に於て行はせられたり午前九時御命名勅使鷹司侍従長は宮中に参内波多野宮相より天皇陛下御宸筆の御名記を拜受し青山御所に参候し恭しく御名記を徳川大夫に授く大夫は御名記を白木の御臺に乘せ御産所に於て典侍園祥子刀自に附し皇子に奉り之れにて式終了し午前十時半より讀書鳴弦の御式ありて文武兩道兼備の尊き御將來を壽き奉り右終て宮中賢所 皇靈殿 神殿へ御命名の御報告の御祭を行はせられたり(東京特電)

第三十七回帝國議會

衆議院(八日)

八日の衆議院は前日の質問を尚ほ繼續する事となり居りしより甚しく人氣立ち傍聽席は定刻以前既に滿員の盛況を呈せり午後一時開會島田議長が青山御所に伺候したる爲め花井副議長代つて議長席に著き開會を宣す此の時政府委員は未だ出席せざるを以て花井議長は政府委員出席迄日程を議題とするに異議なきやを諮り日程に入り

一、東京大阪砲兵工廠據置運轉資本増加に關する法律案

陸軍省參政官より提案の理由の説明あり武藤金吉氏(政友)は本增加は露國より兵器注文增加による結果なるや否やと質し岩崎參政官より然らざる旨を答へ九名の委員附託

二、軍人恩給法中改正法律案

高木正年氏提案の理由を説明し十八名の委員附託

三、同上

四、同上

右二件前同案提出者木津太郎平氏、柏原文太郎氏より各々簡單なる説明あり第二と同一の委員附託

五、地租條例中改正法律案

藤井善助氏より提案理由を説明し十八名の委員附託

六、營業税法廢止法律案

高木益太郎氏より提案の理由を説明し十八名の委員附託

此の時政府委員の出席ありしを以て花井議長は日程を終りて後質問に入るべきや否やを議場に諮りしに異議なかりしより引續き日程

七、東方調査局設置に關する建議案

伊東知也氏より提案の理由を説明し九名の委員附託

右にて日程を終る此の時島田議長歸來し祝賀捧呈の手續を報告し之より愈々質問戰に入る

▲呆氣なき質問戰

△小林丑三郎氏(公友)登壇し(一)政府の時局に對する財政計畫如何(二)財源及び財政を改善するの意志なきや(三)廢減税に關する意見如何(四)公債に就ての所見如何(五)官業整理の計畫如何(六)外債償還に就て政府の採るべき方針如何と一時間に亘て縷々質問して降壇するや

△武富藏相は登壇して

小林君の質問の多くは豫算に對する批評なり批評に對しては答辯の限りに非ずこ浴せかけ更に語を次いで第一、第二の質問に對しては政府は努めて適當の財政計畫をなす考へなるも目下の狀態としては之以上の案を作成するを得ざるなり第三第四は目下調査中なり公債政策に對しては絶對に募集せずとは言明せず又た官業整理は鋭意調査中に屬すると答へ次で

△長島隆二氏(公友)登壇し昨日元田氏の質問に對する一木内相の答辯は甚だ要領を缺げり又た唯今の小林氏の質問に對する武富藏相の答辯中廢減税に對しては一言も之れに及ばず思慮稠密なる藏相とも覺えず察するに政府に其意無きを以てならん更に明確なる答辯を望むと追及し次で論鋒を外交問題に轉じ對支警告の單獨不婦和の失態を糺彈し要するに我外交は自守的外交に非ずして屈辱的外交なりこ喝破す此の時

△島田議長は再度長島氏に本日は午後五時より各大臣は宮中に參内すべきを以て成るべく簡單に質問する樣注意したるを以て長島氏は後日更に質問を繼續すべき條件を保留して質問を中止するや福田又一氏(同志)は本日け之れにて質問を打ち切り明日繼續質問すべしとの動議を提出し滿場異議なく八日は午後四時散會せり

▲九日も本會議

衆議院にては九日は東京市奉祝會當日なるにも拘らず同日午後、陛下上野より御還幸後八日に引き續き本會議を開き質問戰を繼續し當日を以て質問を打ち切り十日より豫算總會を開く筈なり(東京特電)

東京發別電

▲五國對支宣言 支那の帝政[illegible]として各省到る處人心恟々不穩の兆あり支那政府は[illegible]

雜報

◎漁業逐時發展

内鮮人漁夫と漁獲高

昨年中に於ける鮮人漁業は明太魚に於ては前年に比し約四十萬圓前々年に比し約六十萬圓の減收なりしに拘らず尚ほ漁獲總高五百六十一萬五千餘圓に達し、前年の漁獲高五百六十二萬八千餘圓に比し僅かに一萬三千餘圓の減收に止まりしは一般鮮人漁業の改良發達に伴ふ漁獲增進の結果なり、又同年中の内地人漁獲高は六百四十四萬九千餘圓にして前年の五百九十三萬四千餘圓に比し五十一萬四千餘圓を增加せり、内地人漁業に在りては益々其規模を擴張し沖合漁業としては縛網、巾著網及び流網、定置漁業としては大敷網等著しく發達し、就中西海岸に於ける鮟鱇網の如きは發展の續特に顯著にして其船數五百餘艘の多きを算せり、今三年中に於ける内鮮人漁業の狀况を見るに朝鮮人漁夫は二十二萬四十二名船數一萬六千七百十五隻内地人漁夫は二萬四千四百七十三名、船數五千九百五十四隻なりと

◎京畿煙草出入狀況

最近京畿道管内に於ける製造煙草輸移出高を見るに其の重なる品柄は紙卷煙草口付の新羅、常磐木、二鷹、一號クラウン、三號クラウン、同兩切の部にてはウエルス、ダリヤ、ビユチー、ヘルメット、ホワイトコスモス、プロペラ、ヴアイオレット、コスモス、百圓、カゾト、壹圓等にして數量は九百八十萬一千四百本に達し其價格は一萬八千零四十四圓餘なり而して此等の輸移出先地は大連、撫順、奉天、安東縣、青島、東京專賣局等なり今又輸移入の方面を見るに製造煙草引取高は十萬零二百八十本にして此小賣價格は一萬六千零九十二圓餘なり而して試みに其の品名を示せばアリストクラット、ロシドレス、レーニアピクトリヤ、コルタドー、クルネパレス、レガリア、イムペリアルス、パーフエクトスカチン、スケート、敷島、武藏野、朝日、芙蓉、パイレート、地球、白梅、水煙、プリンスアルバート等にして此等の生産地は露國、ハルピン、希臘、大連、上海、マニラ、天津、米國、内地、英國、支那等にして紙卷口付及び紙卷兩切等なり

◎芝罘邦商合同

混成商業家の芝罘に於ける醸造發賣開始は今より四年前なりしが其當時の營業者は某氏の永昌商行某氏の滙泉湧號及び永豐號の三店あり各鋭意發賣に力めたる効は著しく顯はれ販路も擴張して三店一箇月の賣捌高は約二千石に達し邦人事業として前途頗る有望なる顯しも忌はしき競爭は相互の間に起り値上に伴ひ粗製濫造となり信用の墜落經營の困難を來し先づ永豐號の閉店を見殘る兩店尚ほ競爭を繼續して本年に及て料らずも同地の排日貨に遭遇し兩店共殆んど停業同樣なりしが既に排貨の終熄したる今日復業の機運に到達して兩者は復た競爭を繰さんとする意氣込みなるを以て此異常有利なる事業を反て不利に歸せしめ結局兩者は困憊の餘共倒れの愚に陷る可きを慨嘆したる貿易商早川某氏は前日來兩者の調停に盡力しその結果一歩を進めて合同となり從來の原料供給者たる三井洋行も同情し製品監督の勞を執り且つ發賣方も一手に指圖することとなりたれば斯業は將來大に振ふに至る可し因みに今後同地に於ける同業の新開は其筋に於て許可せざる可しと云ふ(芝罘)

◎京城實業會 八日夜成立す

京城實業家が多年の宿望たる賣掛代金回收の件に就ては愈々今回釘本、天日、横田、古城、大和、林、篠崎の數氏發起となり八日午後六時より京城ホテルに於て府内實業家の懇親會を開きたり時恰かも年末多忙の際にも拘らず來會する者百餘名に及び一同食堂に著席するや釘本藤次郎氏推されて座長席に就き開會を宣し且より本會開會の趣旨として京城商家の取引關係を圓滑ならしめ兼ねて將來の發達を圖らんため茲に京城實業家の團體を組織したしと述べ簡明なる十八箇條の規約を朗讀し會名を京城實業會と隔し滿場一致を以て成立したり其規約に基き七名の幹事を擧ぐることゝなり座長の指名にて幹事の詮衡委員五名を指名し詮衡の結果釘本藤次郎、天日常次郎、唐川立造、大和與次郎の七氏、執行猪太郎、篠崎半助、堀尾潔の七氏を幹事に選定せり引續き掛賣代金回收方法に就て協議し九時半散會したるが右の幹事は更に九日午後一時より京城商業會議所に第一回の幹事會を開き評議員の指名及び今後の方針に就て協議を遂げ掛金回收問題に對しては目下至急を要する場合なるにより茲數日中に何んとか方法を定め實行に著手すべしと

◎仁川移出激增

仁川港十一月中の貿易は輸移出八十五萬九千八百五十五圓輸移入九十萬二千二百九十七圓にして前年同月に比し輸移出に四十三萬九千二百十一圓輸移入に十九萬七千二百八十五圓を增加せり又本年一月以降の累計は輸移出六百九十七萬二千八百七十六圓輸移入一千百六十七萬八千零十七圓出入計一千八百六十五萬零八百九十三圓にして前年同期の累計に比し輸移出に二百四十二萬九千三百六十二圓を增加し輸移入に百六十一萬五千零三十七圓を減じ出入合計に八十二萬四千三百二十五圓の增加を示せり斯く輸出の激增を示せるは重に米豆の輸出旺盛なりしに基因せるが如く輸移入減退は戰亂の影響に依る事勿論なるも地方經濟界の不況が購買力を減殺せるも亦其一因たるべし今本年十一月中に於ける輸移出入重要品中一萬圓以上に達せる品價格を示せば輸移出品は米四十九萬三千餘圓大豆十二萬三千餘圓人蔘十一萬圓牛皮五萬四千餘圓等にして輸移入品は小麥粉一萬七千餘圓食鹽四萬五千餘圓果實一萬餘圓淸酒一萬餘圓綵綿及び打綿一萬四千餘圓綿絲一萬三千餘圓生金巾及び晒金巾及び生シーチング七萬八千餘圓晒シーチング九萬三千餘圓綿子及綿イタリアンス二十一萬三千餘圓絹織物八萬餘圓紙三萬四千餘圓熟鐵三萬五千餘圓石炭三萬五千餘圓材木及び板一萬三千餘圓セメント及び石灰二萬一千餘圓叺縄及び莚二萬六千餘圓等なり

◎米穀積出旺盛

目下新穀出盛り期に際したるも歐洲戰亂の影響を受けて船繰り悪しく爲めに大豆玄米及び白米の輸移出意の如くならず新穀大に停滯し居るより仁川穀物商會にては大阪商船會社及び尼ヶ崎汽船會社に照會し是が積取方交渉中の處近々兩會社より大型汽船廻航の事に決し二三日前より停滯品を解纜に積み取りつゝあるが何分十萬に近き多數の積出しを見る事とて仁川埠頭は頗る活況を呈し居れり是に依つて停滯荷物の移出と同時に人氣稍引立ち七日來玄米及び大豆の大口取引を見るに至り爲に市場は稍活氣立ち經濟界も順調となるを得べく從つて引續き輸移出の盛況を見るならん

◎軍靴引渡終了

朝鮮ホテルに於ける慰勞宴

曩きに朝鮮皮革株式會社が日本陸軍の手を經て露國官憲と契約したる露國軍用長靴は、露國檢査官多忙の爲め受授未了のものありしが、此程ボボウスキー、ピレンコの兩檢査官出張し此等の受授を完了し以て第一回及び第二回の契約數全部を終了して茲に一段落を告げたるに依り、右兩檢査官は過日朝鮮駐劄陸軍倉庫長村井主計正並に布澤、新美の兩主計官及び税關吏員並に朝鮮皮革株式會社取締役佐渡秀光、同支配人[illegible]田正平其他の五氏を朝鮮ホテルに招待し盛大なる宴を開けり、此の日兩檢査官は敬意を拂ひ持に露國陸軍武官の正裝にて出席し席上兩檢査官は交々立ちて今回の戰亂に付日露親善の度益々加はり[illegible]の溫情は恰も故國に在るの思ひあらしめ、又本日かゝる親交國の諸氏と特に臨席將氏と一堂に會するは無上の光榮とする處なり、今回軍需品の契約に就ては日本官民一齊に厚意を以て迎へられ殊に之れが受授等に付朝鮮駐劄陸軍倉庫長始め各係官の滿腔の同情、周到なる注意、多大なる盡力とにより何等問題を發生せず完全なる受授を了せしことは何と辭を以て感謝の意を表すべきかを知らず又た朝鮮皮革株式會社が利害を忘れ誠心誠意適格なる製品の作製に努め露國の爲めに盡したること等は敢て予等のみならず露國々家の非常に滿足するところにして感謝の意を表し同時に今後益々親善ならんことの希望を縷述したり、之れに對し村井倉庫長は日露親善に付所感を述べ且つ[illegible]後軍需品の供給に關しては出來得る丈援助するを辭せずとの意を述べ次いで佐渡取締役は軍靴並に革製品の受授に付兩檢査官の多大の勞を謝し契約品全部を支障なく完納することを得たるは會社の光榮之に過ぎず今後の契約に付てはより以上最善を盡し飽まで貴國の滿足を期すべきによりて戰時中は勿論戰爭終了後に於ても永遠に繼續的に下命あらんことを切望すと述べ朝鮮駐劄陸軍倉庫長始め各係官諸氏の懇切なる注意と援助とを謝し終りに兩檢査官の健康を祝し談笑の時の移るを知らず最後にホテル庭園に於て一同記念の撮影をなし和氣藹々の中に散會したりと

◎交代兵來著期

龍山駐在歩兵第三十五聯隊交代兵約八百六十名は十五日午前十一時三十五分龍山著臨時列車にて到著の筈

◎貨物輸入數量

其筋に就て十一月中仁川港の輸入貨物の箇數及び噸量を調査するに輸入貨物六萬一千九百九十三箇一萬白二十一噸五移入貨物八萬九千二百〇八箇一萬四千二百六十八噸五十鐵道運帶輸移入貨物一千七百九十八箇三百五十五噸十九輸出貨物三萬二千九百七十六箇二千六百十四噸なり

◎佛國々防公債募集

東京日佛銀行及び各支店にては今回佛國政府にて新に公債を募集することゝなりたるに付き應募方の委託を受けたるが其の要項左の如し

▲利益年分之五▲公債價額八十七法二十五仙(日貨換算は應募申請當日時價にて計算す)▲利益配當毎年二月十六日、五月十六日、八月十六日、十一月十六日▲公債價額納入方法應募申請同時に全價額を納入す▲利益金に對しては佛國諸種税を免除す▲本公債證券は無定期にて發行し一千九百三十一年一月一日よりは佛國政府より償還する權利あるものとす▲公債[illegible]期間は今年十一月二十五日より同年十二月十五日迄▲今年利益計算日割は十一月十五日より開始す

◎一時賜金

鐵道局工務課長故岡村初之助氏未亡人岡村はな子に對し七日附一時賜金一千五百圓下賜の辭令ありたり

◎仁川手形交換高

十一月[illegible]

◎仁川兩組合定款

仁川商業會議所に於ては[illegible]

◎放火すこ發喝す

京畿道開城郡嶺南面龍興里花谷崔成南方に至り同人に金百圓を提供せよと脅迫し出[illegible]

經濟會にては七日午後七時より仁川ホテルに於て例會を開會し仁川築港[illegible]

人事消息

▲小城齊氏(鐵道局建築課長) 同村技師卒去に就き七日附工務課長事務取扱を命ぜらる

▲入江海平氏(理財課長) 七日忠北全南北へ出張の筈なりしも事務多端の爲め一兩日出發を延期せり

▲井口省吾氏(軍司令官) 十日頃留任の筈

▲國澤新兵衛氏(南滿鐵道副總裁) 八日釜山より入京朝鮮ホテルへ投宿

▲上田恭輔氏(同會社秘書役) 同上

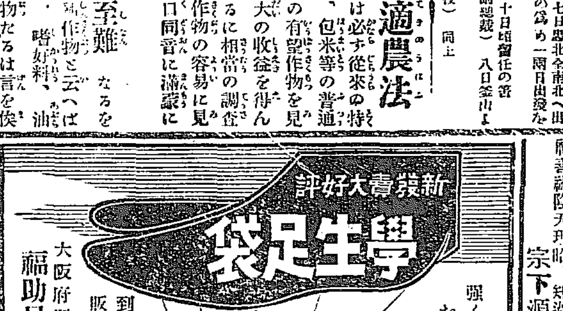
◎滿蒙の適農法

滿蒙の開發を説く者は必ず從來の特産物たる高粱、大豆、包米等の普通適作物の外に或特種の有望作物を見出して一氣呵成に莫大の收益を得んと期待しつゝあり然るに相當の調査を進めて新しき有利作物の容易に見當らざるを知るや異口同音に滿蒙に於ける邦人

▲農業經營の至難なるを論ず滿蒙に有利なる新作物と云へば棉料、藥料、纖維料、嗜好料、油料、染料等の工藝作物たるは言を俟たざれど砂糖、棉、煙草、藥品其の他の工業品原料を得る作物一として滿蒙の土地に適する物なし然るに一部論者は漸くにして同地方に栽培し得る限度の作物を持出して多大の收益あるが如く獎勵す又企業者も皮相の研究調査を誤信して投資的の過大經營を行ひて全然失敗に歸したるの例少からず果樹にせよ米作にせよ同じく此無法經營を行ふ者多し例へば外來の一學者が一度葡萄の有利なるを唱ふれば種類も選ばず土質も構はずして數十町歩の開地を全部之が栽植に充つるが如き其一なり又甜菜の栽培を滿洲に奬勵せんとしつゝある愚論も無きに非ず

▲滿蒙の土地が熱帶地方の植民地の如く農業地として多くの收益を期待し得ざるは何人も知る所なり滿蒙を他の熱帶植民地の如く富源豐富の者と期待するは抑失敗の原因なり從來の適作物を捨て一氣呵成に新作物に更新するが如きは須からく斷念せざる可らず又敢て同一種類の作物を以てせずとも風土に適せる穀類を主として事情の許す範圍内に於て米作を行ひ蔬菜を作り果樹を栽培するに於て却つて有利なるを信ずるなり作り得べくんば棉作もよし大麻もよし除蟲菊の栽培も不可ならず各自の生産品が少額なれば組合を設けて之を集め市場の商品となし得べし滿洲の農法が大規模に非ざれば不可なりとの論を根底より打破せざれば日本人の植民は到底行はれ得べからざる事は少しく同地の事情を知る者の等しく信じて疑はざる所なり牧羊殊に然り強ち一人にて百頭千頭を飼養せずとも十頭にても可なり二十頭にても可なり副業に之を行ひて更に不可なかるべきなりと

龍仁李氏宗人中依富阿 護者清鑒
勢家依憑已多年、忍忿讀書待自然、
禍福陰天理昭、知過必改孰非賢、
宗下源容 告白



新刊書御案内

書名	著者	定價
西洋通史上卷	瀨川博士	一四〇
支那政治地理誌下卷	大村欣一	三五〇
西洋音樂講話	田邊尚雄	一三〇
普生學	江口天峯、海士磐山	八だ
佛語會話入門	ジュアスケ	七五
かけひきくらべ	岡鬼太郎	五〇
和漢名士參禪集	忽滑谷快天	一〇〇
うき世	押川春葉	一二〇
作歌問答	窪田空穗	七〇
赤とんぼ	久間正雄	五〇
美人禪	笛岡苗泉	一〇〇
エレンケイ思想の眞髓	本間久雄	九〇
宅嶋嵩修養語錄	生田春月	五五
新船北九一休和尚	中村德助	三五
不文律	ドストエフスキー	八〇
眞夏の夜の夢	坪内逍遥	一三〇
蜀山人とは	江森?	一三〇
三年訓	篠道文郎	一〇
廣告と販賣	佐々木十九	一二〇
基督教十講	宮川經輝	一〇〇
大日本史	長尾水五郎	一五〇
泰西の繪畫及彫刻	洛陽堂	一三〇

京城本町 電話一〇八六 振替京城一一五七三
大阪屋號書店

◎開店廣告◎
營業品目は大略次の種類であります
◎學校手藝用品
裁縫、刺繍、袋物、編物、造花、摘み細工、みしん縫等に用ふる材料及器具は何でもあります
◎糸ひも類
裁縫用絹糸、洋服用絹糸、綿糸、紙縒用絹糸、金銀モール、穴糸、金銀糸、綿糸、みしん刺繍糸、小町糸、すがこつち、綿糸、かたん糸、毛糸、すべて品質可良なるれーす糸其他各種、羽織紐、其他組紐及房類各種、て一ぶ、毛べり等、東京糸、れーす
◎造花應用裝飾品
枝物、籠もり、鉢植、かんざし、徽章、花輪、花束、ぼんねつと、ふらわーこーさ、くれーぷ造花、金板造花、絲木造花、も一る等
十日より十六日まで開店賣出し
十多少に拘はらず景品を差上げます
京城本町二丁目二番地
(舊明治町二丁目東側)
尾琴屋
電話一三五九番

十二月六日より
同三十一日まで
福引景品付
歳末大賣出し
副景品として
御大典紀念スタンプ付貯金臺紙壹千枚を呈り進呈仕候
京城本町
山口呉服店
電話一三九番

し再度の宣言を發すべし

▲支那各地不穩 上海の革命騒動は一先づ鎮定したるも之を動機

▲內□□が □□形式に依り外債償還の爲め內債二三千萬圓を發行す可く道囘廟議にて決定

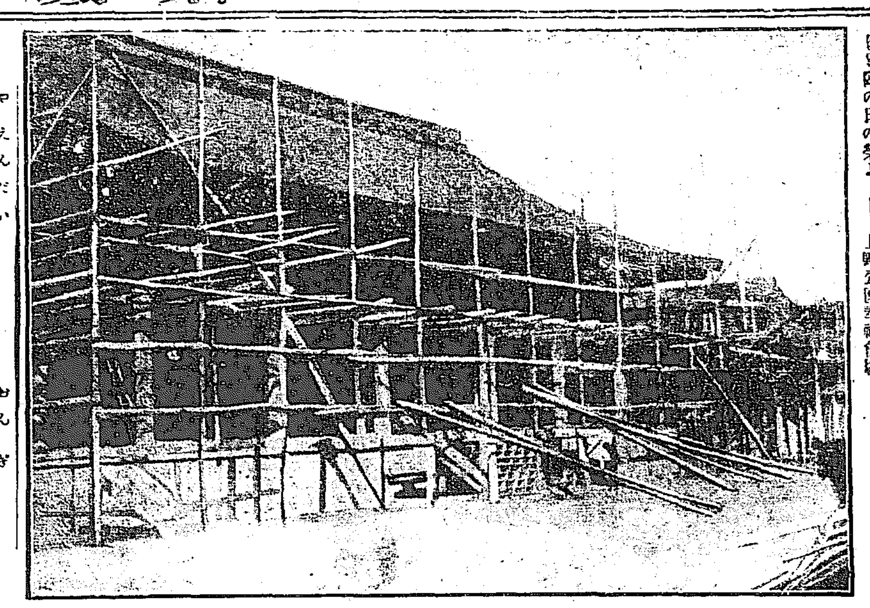
▲鐵道改設 鐵道院にては幹線

萬□千五百九十三圓手形枚數三千九百四十五枚同一日平均百六十四枚一枚平均三百八十五圓なり

◎小船繋留所問題 仁川 を以て不日認可申請の手續をなす可たるが來る十日總會に附し具體的に審議する事に決せり

にして出金を迫りしも應ぜざりしより同家住宅の東北隅に接したる便所にマッチを以て放火し次いで同月六日午後十一時頃同

◎ハムレット大成功 仁川 盛況を呈し大成功なりと



□今日の榮 東京市民が、聖上の御即位を祝ぎまつる可き日は、今日九日とて、上野の森に、莊嚴なる殿堂は成りつ。あはれ鸞駕臨御の日の榮よ。——上野公園奉祝會場

夜宴第一日の御儀

芽出度かりける御代始能

銀製菓子器と御謡本を賜ふ

天皇陛下には御即位の大典滯りなく濟ませられたるに就き七日午後六時より饗宴第一日の儀を行はせ給へり此の日 陛下には大元帥の御正装にて豊明殿に出御、諸員最敬禮の裡に玉座に著御あらせられ給ふ茲に於て各皇族殿下、各國大公使各國務大臣等は金光燦爛たる大禮服にて席次順に玉座を中心に居流れ晩餐の饗を賜はりつ、斯くて午後七時に至れば 陛下には一旦入御あらせられ八時ともなれば新築の能舞臺に於て天覽御能の陪觀を仰付けられ斯くて芽出度き御代始能として觀世元滋の翁、櫻間金太郎の高砂、野間口政吉、松本長の石橋を天覽あらせられたるが何れも能界錚々の人物にて一生一代の光榮ある御前奏演のこと〻て舞手地方共技神に入り 陛下にも思召にかなはせられたる御模様にて陪觀の人々も感嘆措かず十時半より豊明殿千種間にて祝宴の御催しあり、千餘名の參列諸員は銀製菓子器に御紋章附御謡本を賜はり十二時頃思ひ〳〵に退出せり(東京特電)

猩紅熱は撲滅し得ざるか

蔓延の兆あり——子を有つ親は注意せよ

昨冬から今春にかけて一時猖獗を逞うした猩紅熱は今年も又復流行の兆あり現に去月中も二三の患者を出したる處十二月に入りては七日までに九名の新患者を出し年齢は一歳から五歳七歳十五歳までの子供に多く現れ場所は府內櫻井町二丁目に一名旭町二丁目に三名、大和町二丁目に一名、南米倉町に二名、龍山元町一名、同漢江通一名といふ割合で發生した一般の家庭に於ては此際呉々も豫防の注意を怠つてはならぬ

▲豫防法に苦心 京城の猩紅熱はずつと以前からもあつたと思ふが一般に注意し出したのは一昨年頃からである、元來猩紅熱に就ては今日まだ其の病源すら分つて居ない有様で其の傳染の

■系統も不明 であるから從つて豫防法にも苦心中である、併し傳染病であるといふ事は分つて居るから一般の傳染病豫防法により專心其の撲滅に努めつゝある次第、當局者の施設としては本春以來京城龍山に三箇所の消毒班を設け、其處には囑託の

■警察醫を附し 又各醫師をして病源及び消毒法に就き研究せしめて居る、又一面府內の檢病的戸口調査を勵行し若し患者を發見した際には其の家庭に消毒班を出張家內全部を消毒せしめ且つ患者は府立傳染病院順化院に收容する事になつて居る殊に此の病氣は大人に少く子供に多いのであるから

■患者が學校 に關係のある場合の如きは一時の消毒を勵行して場合によつては學校も消毒せしめて居る(警務總監部衞生課長談)

▲併發病が却つて怖わい

京城には猩紅熱が流行る〳〵と大騒ぎする人もあるやうだが私の考へでは其の患者の數と全人口と比較して決して大流行であるとは思はぬ、又今日では猩紅熱の病源菌すら分つて居ないからこれを

■撲滅すること いふ事は絶對に不可能であると思ふが此の病氣は左程騒ぎ立てる程怖るべき病氣ではない、只たまに此の病氣で斃れたりする人の多くは其の併發症の爲めにやられるのである、患者は少しでも加減が悪いと思つた場合早速醫者の手當を受くれば別段

■心配する程 のものではない又土地によつて此病氣の有無は何とも云へないが內地人に多くて鮮人に少いのはこれは鮮人の方が猩紅熱に對する抵抗力が強いからである、又子供に多くて大人に少いのもこれと同一の理由である、又猩紅熱初發の病症は誰れでも

■咽喉が痛み 發熱し頭痛がし胸部のあたりが紅色を呈し口唇の周圍は白色に變するのであるが元來此の病氣程重輕症の差の甚だしいものは無く輕いのは賣藥の風邪藥でも癒るから一般に鼻風邪位ゐで濟して了ふ事も尠くない、併し抵抗力の弱い子供には發熱したり嘔吐を催したりするが始めは

■發熱しても 二三日位はピン〳〵元氣ではね廻る者もある、今の處別段豫防法とては無いから一般の家庭では其の兆候ある時に注意を怠らず又子供には度々嗽をさせ時々咽喉を見てやるもよし若し特別に紅色と白色を呈して居れば早く醫師に診せるがよし當局者が嚴重な消毒法を施し且つ

■傳染病院に 收容するのは一般の病源携帶者が我儘なことをするから若し嚴重な醫師の監督を受くれば大騒ぎ爲なくとも靜かに療治能きるのである(順化院小兒科病院長談)

景氣附いた新龍山

果樹園變じて練兵場となる

將校宿舍が五十軒建つた

師團增設決定の聲を聞いてからの龍山は恰も甦つた如くに人氣挽回し市街の空氣も道行く人の顏も何んとなく活氣が旺溢して居る樣にも見えた共進會開催中は平素よりは寂しい位で何んの好影響をも蒙らなかつたと云ふ龍山も新市街には共進會が終つてからアノ廣い十五間巾の大道路に冬枯れの寒い冷たい風の吹き荒む今日此頃になつて

■三角地を中心とし て四方に料理屋——と云ふ迄もいかないが兎も角も料理を食べさし酒を飲ませる家が恰も雨後の筍の如うに出來て來る而して以前からあつた店も、新らしく出來た共榮軒の料理家の店に居る女の顏にも左樣に不景氣な色を漂はせて居ない、之れを以て穴勝ちに龍山の景氣がよいと云ふ譯でもないが又以て寂びれて行くとも見えない、殊に足を一歩三角遊園地から若しくは

■軍司令部の裏手に 向けるならば龍山の將來の殷盛を形造る理由が此所にも彼所にも見えるであらう、それは外でもない來年の四月から新らしく出來る新設師團に勤務する將校の宿舍が約五十軒許り建つて居る、モー屋根も葺かれて居る、壁も出來て結氷期中に內部の造作が出來上る手筈になつて居る、今駐劄の第九師團は此三月一杯で引揚げる、其後には新設の師團——完成するまでは內地各師團の混成で組織さるゝであらうが——將校丈は腰掛的でなく

■永住者が來るので ある、子供も連れて來れば老人も連れて來るであらう、然らば此所には一個の町が出來る次第で、既早や草深い田舍だと云はれて居た梨太院の川邊にも立派な雜貨店が開店された京城の方からも資本のある人、新らしい事業を起しさうな人が近頃は三々伍々隊を爲して此方面を散策して『そうなれば

■此方面は頗る有望 だな、ドーです一つ三人共同で始めて見ようではありませんか』なぞの話を時々耳に挾む事がある、所で之れが爲め打撃を蒙つて居るのは軍用地に經營して居る果樹園業者であらう、京城の市中に新鮮な果物を供給して居る多くのものは龍島と龍山の此方面のものである、それが這般師團增設の爲めに松本木宿爾氏の經營に係る果樹園は既に取り拂はれることになり

■龍山の名物こまで 云はれた龍山葡萄園、清崎、菊田、入山等の果樹園も近く兩三年の間には無くなることになつて居るらしい師團完成の曉には今の果樹園は變じて兵營となり練兵場ともなるかも知れぬと云ふ話である

機器局襲擊光景

官兵軍艦『肇和』を砲擊す

六日上海發八日午後門司へ入港せる英國汽船トアルバンス船長の談に依れば五日午後六時半廿餘名の革命黨員は一汽艇に乘り外國租界より出で〻巡洋艦肇和に至りたるに同艦乘組の將校は其の乘船を拒みたれば革命黨員は一個の包物を艦上に投上げて躍り其の後間も無くして機器局の攻擊を始め一時間半にて止むと同時に浦東海岸にて一團の官兵肇和に向ひ砲擊を爲したるも機器局附近に在りし海圻、永昌の二艦は其の砲彈居留地に達するより唯傍觀し居りし之れが爲め佛租界其の他に損害を與へ六日午前一時戒嚴令布かる又軍艦は同夜中探海燈を絶間なく照し居たるが翌朝は無事と爲れり(門司特電)

俘虜軍法會議に廻さる

小倉師團司令部より理事出張

五名の大捜索をなし同夕刻モッテ等三名小倉へ送られ

福岡俘虜收容所に於ける俘虜逃走事件に關し小倉師團司令部より入見理事出張七日朝よりワルデックの室其他の大捜索をなし同夕刻モッテ等三名小倉へ送られ軍法會議に廻さる(門司特電)

鼠から火

未曾有の出火

長春東七區理髮業第二東洋堂事主居福太郎方八日午前一時出火店の內のみ燒け屋根に火上らず大事に至らず鎮火せるが原因は簞笥の中にマッチと卵とを置きあり其の中に鼠入り乾燥したるマッチより火を出したるものならんと(長春特電)

金塊隱蔽

俘虜青島へ護送

金塊七十五萬圓隱蔽事件に關する松山收容所の俘虜一名八日毫北丸にて青島へ護送されたり(門司特電)

偽造五十錢銀貨を行使す

岡山縣吉備郡庭瀨町當時京城明治町二丁目高橋方有松始二(二三)は實姉ちよが前記高橋に嫁し京城にて履物商を營業し居るを便りて本年九月初旬入京し店務を手傳ひ居れる中十月初旬姉のちよは商品代として五十錢銀貨一個を受取り同月十一日右は僞造なることを發見し居合せたる店員に本町警察署に屆出づべき樣命じ陳列棚の上に置きたるに十四日始二は之を携へ屆出でんと袂に入れたるも同人は其の僞造貨幣の眞正貨幣と一見異らざるを見て之を行使するとも容易に發見せられざるべしと淺慕なる考へにて入場券を買ひて使用したること發見され本町署警官に檢擧され十二月八日京城地方法院にて塚原裁判長石村熊島兩判事陪席園部書記係横田檢事立合ひの上懲役一年六箇月(三年間執行猶豫)の判決をうけたり

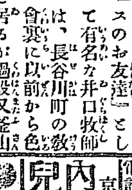
雪降らんか

今年は暖かい

本月六日には朝鮮各地方共低氣壓あり京城地方は一般溫暖なりしが七日午前六時の觀測にては支那大陸北蒙古に近來稀なる七百八十二粍の高氣壓出現し爲に朝鮮各地方にては其影響を受け北風荒み氣溫低降し引續き八日に亙りて寒氣繼續し八日午前六時の觀測にては京城にて零下五度五分を示し其最低溫度氷點下五度六分にして之を毎年の平均氣溫と比較すれば稍寒氣強かりし傾きあり本年に入り今日迄には十一月三十日に零下六度四分を示したるが最低氣溫なりき目下朝鮮各地共一般寒氣強く國境なる平北地方にては零下十七度を示し居れり而して全鮮を通じ中部以北は何れも氷點以下に低下し只木浦釜山等の南部地方のみは氷點以上を示せり八日に入りては九州の南方に低氣壓出現したるを以て其影響に因り鮮內各地共一般好溫を呈し所謂四溫となるべきも或は其變動期には降雪を見るやも知れずと(京城測候所觀測)

◎集金して費消す 香川縣三豊郡五郷村生れ京城明治町一丁目廣部方雇人石井晴始(二二)は本年九月二十四日頃より十一月中旬迄前記廣部方にて整梳毛類の販賣及び其代金取立に從事中同期間內に集金したる十六圓九十錢を數回に亙り京城にて生活費其他に費消し尚十一月十四日早朝主家の工場內宿舍に就床中同宿舍なる原直一の隙を窺ひ同人の所有なる現金三十八圓三十五錢五厘と質印在中の革製財布一箇及び置時計一箇を竊取したること本町署の探知する所となり十二月八日京城地方法院に於て塚原裁判長里見石村兩判事陪席園部書記の係り水野檢事の立會ひにて懲役一年の判決ありたり

◎仁川港內で沈沒 仁川某組所有發動船第百四十號諸仁九二十四噸は六日午後二時頃汽船第九大運丸より石炭四十六噸を積取り內港を經て龍山へ向け航行中折柄激しき西風吹き荒み航行不能となりたるより元月尾島附近に繫留せんとする刹那急激なる潮流と強風の爲め船止め杭の根石に吹き付けられ右舷下中板に大破損を生じ見る間に浸水沈沒したるも乘組員は附近の船舶に移乘して無事なるを得たり船體は其後轉覆し積荷は全部流失したり船體損害約四百圓流失石炭損害約四百圓計八百餘圓なりと



▲例の『カチカラスのお友達』として有名な井口牧師は、長谷川町の教會裏に以前から色々な動物を飼つて居るが過般又釜山から猫の子を貰つて來た▲然るに此の猫は毎時も食物が欲しくなるとチン〳〵お預けをしてニャオ〳〵とやる▲其處で有繫の動物好の牧師も一時は眼を圓うして『サテハ化け猫であつたよな』と吃驚したが▲よく釜山の親元を調べて見ると此の猫は産れ落ちるとから友達の親犬に育てられたことが分つた▲其處で牧師は相變らずのニコ〳〵顏に山羊鬚を撫でて大得意『化け猫かと思つたがニャンの事だ』

廣告

來る大正五年一月一日新年祝賀の爲め名刺交換會を開催し以て往復の禮に代へむとす御贊同の諸彥は左記事項御承知の上會費金五拾錢を添へ京城府廳へ申込まれ度し

大正四年十二月

京城府
京城商業會議所
名刺交換會發起者

記

一 會場 南大門公立尋常小學校構內
一 日時 大正五年一月一日午前十一時
一 申込者 ハ名刺調製上必要アルニ付住所、職業(在勤先ヲ記入スルコト)氏名、原籍(府縣ノミ記入スルコト)電話番號ヲ通知ノコト
一 申込期限 大正四年十二月二十日正午限リ期限經過後は申込を謝絶す

京日案內

◎普通 一回前金三十錢(無割引)四行一回每に金五錢増

◎譲受度し 御廢業になる賣藥小賣店至急譲受けたし ◯姓名在社 140

◎看護婦募集す 希望者は履歴書携帶來談あれ但し有資格者 ◯仁川寺町電七四△仁川看護婦會 423

◎貸家 日本建溫突付三室至極閑靜官吏向 漢陽公園南裏 管理者 龍山印刷局先畑中 79

◎古本なら野村 買入誠實御報參上 京城本町一丁目(明治町筋) 電話二六三六番 野村書店 112

◎日鮮人男女職工卅人募集す 志望者は午後來談あれ △南大門外(岐阜屋旅館裏)鈴木工場 131

◎番外 一回前金六十錢(無割引)四行一回每に金五錢増

猪肉發賣 壹貫匁以上御求の方は特に御値段勉強仕候 ◯特肉○△すき燒 ◯明治町二丁目 電話壹○四三番 石田本店 139

◎文房具店買受したし 讓渡し希望者は左記へ 京城櫻井町一 電話九八五番 戶部質店 138

◎朝鮮語課 新學期 三ケ月修業 ◯英語課 新學期各種補欠 南大門通漢城銀行向ひ△京城青年會 137

▲質屋移轉 元營業所支那領事館通に新築落成移轉仕候 黃金町二〇長橋通入 電話二九一六番 田村質店 902

內科 兒科 專門 胃腸 呼吸器病 京城本町二 壽町元中島病院跡(入院隨意) 山田醫院 電話二八〇番 81

◎銀牌受領 ◎醸 平壤內田 醬油は今回の大共進會に於て銀牌受領す 右は眞價と證明に依る 倍舊の御引立を乞ふ 新龍山局前電話二四六◎內田出張店 939

▲パン 品質の優越せると目方の豊富なるは 太平通二丁目 相川パン屋に限る 電話は一一八九番へ御掛下さい 47

◎鞄類並に◎洋馬具一式◎ズック品◎革具其他◎製造販賣 京城明治町二丁目 古賀商店 電話一八三三番 製品雜貨撒價提供 82

◎恩給 年金類低利長期立換短期 不便なる地方在住者に無保險 其他擔保信用貸仕候 京城南大門外御成町 山口屋 98

醬油の撰擇を誤るは年中の損
試み給へ關東唯一の絶品キハク醬油
醸造高全國に冠たり年額六萬二千石
最大の醸造高は最大の購買力に基けり
最大の購買力は品質優越の證

最上醬油 〈キハク印〉

下總國野田町
茂木七郎右衞門醸造
京城特約店
明治町一丁目
牧野商店
電話二五三番

千生瓢 (64)

須藤南翠作　筒井年峰畫

曉將(四)

此時、佐久間の陣中、進軍の用意あることを聞いて、原彦三、徳山五兵衛も馳せ著け、軍議は愈々大評定となつたのである、原、徳山は佐久間に屬する加賀の城持大名であるから、安井、拜郷の上座に就いて、先程よりの評定を聞き取つた上、德山五兵衛は、安井、拜郷に同意して、飽まで出陣を諫止しようとした。

『玄蕃允殿の兵機に乘じて、勝を一擧に制さうとせらるゝは、軍術の表然ることながら、敵を知り我を知ること、亦固より肝要おざらう。相手は名に負ふ神變不思議の筑前守、已にこの守を捨て、美濃攻に向ふとも少しも後を顧みる憂ひのない様、遺算なき仕置致した事と存ずる、敵に如何なる機略ある事も察せず直押に攻めんは甚だ以て危き事と、五兵衛は思慮致いておざる』

斯くと聞いた盛政は、呵々とうち笑つて

『老功の德山殿、いかなる賢慮ばしあるかと存じたるに、猿奴を入なげに恐れらるゝは、武勇の大將とも存ぜられぬぢや』

『筑前守いか程機略あるとも、五兵衛決して恐れは致さぬ、只味方の不利を存ずる故』

『何とお言ひやる』

『さればおざる、驕る兵は敗ると申す事よも、御存じなき事はおざるまい』

『新勝の勢ひに乘じたる、武勇の勢み驕兵とは、今一言申されい、玄蕃聞き捨てには致さぬぞ』

盛政は刀の柄に手をかけて、眼を怒らして疾視み据ゑた、此凄じい勢ひを見て、諸將も色を變じたが、五兵衛は泰然として口を開いた。

『其座を去らず誅せられうとも、味方不利と知りながら、申さずには居られ申さぬ。味方の軍勢多數ではおざれど、大岩山も難なく落城に及び其が爲に岩崎山も、戰はずして開城したれば、物頭衆を始め侍士の面々、羽柴方の諸士恐るゝに足らずと多く敵を侮る心を生じ、雜兵は財寶に目をくれて、分捕をのみ志し罷在る。此兵を以て賤ヶ嶽へ向ふとも將士の心驕りたれば、大岩崎と同様に心得、手輕く戰ふは一定おざる、さある時は、味方大敗の基にて、兎角するうち筑前守の援兵來らば、攻守地を換へ、此戰一期の大事と相成申す。是故に德山五兵衛、きつとお止め申すでおざる』

憚りげもなく諫めたので、安井、拜郷も辭を添へて、之に同意し、諸將も之に傾いたのであつた。

玄蕃允盛政は、少しく詞を和げて

『面々の意見、道理至極なれども、此度の戰ひは、玄蕃に御任せ下されたい。大岩山の落城は、味方の兵の鋭るよりも、敵に大なる恐怖を與へて、高山は開城し、秀長は田神山の要害を占めながら、壘を潛めて縮み居る。また賤ヶ嶽の前面には、柴田三左衛門勝政、五千の人數を以て相對し、別に金森五郎八入道、二千餘人を以て横合より附け入らんと構へたれば、是ばかりでも容易に利運の望みはおざらぬ。其上彼の陣中にも、味方に心を寄する者あつて、戰ひ大事に及ばゞ、鉾を倒にして味方の爲に、忠功を抽づる者おざる。是れ戰ひの機と申して、之を得ると得ざるとが、勝敗の分るゝ所。まつた筑前守の來援を、方々には深く恐らるれど、此玄蕃は左は存せぬ。大垣との距離は十三里、今曉早馬を以て注進するとも、未刻より早くは、彼地の達し申すまい。夫より揉みに揉んで馳せ來るとも、今夜亥の刻より早くは參らぬ。而も是は騎馬武者ばかりおざる。徒歩立の兵は、尚二時は後るゝであらう。其までには賤ヶ嶽を攻め破り、鞭鐙を合せて馳せ來たる猿奴を待ち受けて、花々しく一戰仕つる。此切處に強兵を籠め、力を一つにして戰ふ時は、萬に一も討ち漏す事はあるまい。申さば匠作國運の快戰ぢや。方々も存分の手柄を現はされよ。玄蕃が心はもはや動かぬ』

斯く說き來つて、盛政は強く頭を揮つた。

新年用 名刺及はがき
明治町二丁目(敎會堂通) 長崎名物屋

入院隨意 胃腸病院
京城南大門通三丁目(藤本商店横入る)
院主 佐々木杏造 電話一六五九番

新刊紹介

▲實業之日本(臨時增刊) 御大典記念寫眞號 御大典に關する美麗鮮明なる寫眞を收め大典記事を詳載す(本號に限り二十錢郵税二錢東京京橋區南紺屋町十一實業之日本社)

▲碁(八十六號) 大阪西區江戸堀南通一の十九關西圍碁會 一部十五錢郵税五厘

▲東洋時報(二百六號) 東京麹町區山下町一の一東洋協會 一ケ月五十錢

▲ジャパンタイムス少年(九號) 東京麹町區内幸町一の四ジャパンタイムス社 十錢郵税五厘

▲實習講義(十號) 東京神田區錦町三の九國民實科大學院 一ヶ月四十錢

▲英語の日本(十月) 東京神田區表神保町三建文館 十五錢郵税一錢

▲時事經濟時報(十二號) 東京赤坂區南山町五の三三財政經濟時報社 二十五錢郵税一錢五厘

▲蠶業新報(第二百七十三號) 定價十五錢發行所東京日本橋區通油町十四番地蠶業新報社

▲敎育の實際(十卷第二號) 價二十錢東京日本橋區本石町寶文館

▲扶服錄(末廣一雄著) 一名日本國民の同盟國民に對する要求にして日英同盟の三大障害一大危險二大矯性を論述する頗る詳細發世家の爲には好参考書たるを失はず(定價二十錢東京神田東京堂同京橋北隆館)

▲通俗圍碁原理(第二卷原論第一) 小川文雄著 新編本因坊研究秘訣、定石、布石、作戰、手筋等を可成平易に說き一般好碁家の爲めには必讀の書たり附錄として百六十一面の棋石新明圖あり(九十五錢東京京橋區小田原町四の四 碁川堂)

▲作文速成(友田宜剛著) 中學卒業程度の學生にして官立學校入學の便に供する爲め著者多年の經驗に據り本書成る全篇を五分し(一)作文の病弊及び救濟法(二)文例(三)書翰文の病弊及び其救濟法(四)文例(五)短文練習とす志ある者の一讀を薦む(定價金五十錢東京本郷駒込坂下町四八大日本雄辯會發行)

▲學校敎育(二の一三) 定價金十五錢東京日本橋區本石町三寶文館內敎育實際社

▲兒童研究(一九の五) 定價金十六錢東京市本郷區西片町一〇兒童研究發行所

▲實業の世界(一二の二四) 定價金十二錢東京市麹町區有樂町一の四其社

▲ニコ〳〵(十二月號) 定價金廿錢東京市麹町區有樂町三の三ニコ〳〵俱樂部發行

▲茶業界(一一) 定價金十錢靜岡市茶業組合聯合會議所茶業界發行部

▲情調(御即位大禮記念號) 定價金拾五錢東京市京橋區桶町一九情調社

▲成功(三一の三) 定價金拾錢東京市本郷區弓町一の一成功雜誌社

本社電話番號

當分の間構內接續電話を廢し凡て局直通電話にて左の通り御呼出被下度候

編輯用 一三四五番 一二一四番
營業用 長三二六番 六六〇番
發送用 二六一六番

公告

舊吉野町墓地大正三年三月二十九日居留民團告示第十六號ヲ以テ廢止セラレタルニ付キ今回京畿道高陽郡[illegible]面阿峴里墓地ニ改葬スヘキニ依リ左記關係者ハ來ル十二月十[illegible]日迄ニ當府內務係ニ申出テラルヘシ

京城府

記

墳墓管理人原籍氏名	死者
岡山縣兒島郡鉾立村井上ユカ	死產兒
長崎縣西彼杵郡浦上山里村西田マス	島福次郎
鹿兒島縣川邊郡東加世村川口サト	死產兒
東京市芝區愛宕下町磯貝兼吉	同
長崎市館內吉見シメ	同
小倉市鳥平田淵タマ	同
三重縣多氣郡西外城村藪內市五郎	高谷ヨネ
東京市牛込區赤城下町兒玉秀一郎	兒玉五郎
岡山縣赤磐郡山方村中原與市	脇山定子
愛媛縣松山市柳井町日詰忠亮	日詰藤子
福岡縣企救郡曾根村坂井茂	吉原ヨシノの死產兒
東京市小石川區大塚町安達助治	死產兒
大分縣北海郡佐賀關町關トヨ	死產兒
本籍不詳松本鹿挺	死產兒
宮城縣名取郡岩沼町佐々木ヨシ	佐々木喜太郎
長崎市伊良林町杉本トク	杉本朝子
不詳	白橋精一
同	服部ヨジ

以上

優等清酒 一鶴
京城本町四丁目電話六五四番 本莊酒店

婦人病者心得

ハガキにて本家へ申込次第無代進呈

事實

は何よりも確かな證據です。命の母で子宮病血の道が治つて。子寶を擧げられた御方は實に澤山です一例を見ても其藥効が知られませう、詳き事は上記婦人病者心得御一讀になれば成程ソーかと會得ができます

四ヶ月分服藥女子出產

三河矢作町 鳥居源助方 鳥居うめ夫人

健男子を產むだ感謝

島根縣大原郡春殖村加茂 永井寶太郎夫人

十三年目に寶兒を得

朝鮮全州高砂町一丁目 川島乙松夫人

女子分娩の喜び

大阪市北區本庄浮田町七九二 西崎てる子夫人

不思議に男子出產

伊豫國宇和郡卯之町方 神野鶴三郎夫人

男子分娩も命の母の御蔭

山口縣久賀郡本郷村 山田宗太郎夫人

女のくすりで一番よくきくのは命の母です

ソレハ何故……曰く

日本一の藥學博士下山先生が

命の母は 婦人藥として坊間に存在せる諸藥劑に比して卓絶せる効驗あるを余は證明す

第一等の婦人藥と證明せらる

命の母藥價

命の母		加減命の母	
二日分	廿五錢	五日分	八十錢
七日分	八十錢	十日分	一圓五十錢
二週分	壹圓五拾錢	三十日分	三圓
五週分	三圓	二ヶ月分	五圓

買方: 到る處の信用ある大藥房にて販賣せり。品切の時は本家へ申込次第送る

御注意: 命の母には數種の加減藥命の母があるから、本家へ申込時は容體明記あれ

早く試み玉へ

(一)白帶下ながれ血に苦しむ人
(二)脚腰冷えて頭痛する人
(三)子宮病にて下腹の痛む人
(四)逆上にて脊肩のこる人
(五)ヒステリー血の道の人
(六)月經滯り或は不順の人
(七)つわり又腹先へ差込む人
(八)卵巢炎、輸卵管炎の人
(九)浮腫痺れ疝氣の人
(十)腦神經衰弱の人
(十一)貧血顏色惡き人
(十二)頭痛眩暈に苦む人
(十三)癇癪より心悸亢進の人
(十四)安產肥立ちを望む人

子宮要藥 命の母

本家 笹岡省三藥房
東京京橋區新榮町四丁目一番地 振替東京五〇五〇番 電話本局二二〇一番
大阪市東區淡路町一丁目 振替大阪三二八〇番 電話本局三二三五番

商況

大阪三品 [illegible]

大阪株式
四月限 一二四、一〇 一二四、五〇
五月限 一二五、〇〇 一二五、七〇

仁川米豆取引所 一四、八〇 一五、二五 / 一五、一五 一五、六〇

▲本日の現物界 [illegible]

平均値段
一節 十一圓六十七錢
二節 十一圓六十八錢
三節 十一圓七十四錢
四節 十一圓七十八錢